

平成 25 年度

龍ヶ崎市

予算の概要



「龍ヶ崎市公式マスコットキャラクター」

平成25年2月

目 次

1 予算編成にあたって	1
2 予算編成状況について	2
3 重点戦略別主要事業	3
4 個別事業の内容と財源の内訳	6
5 一般会計予算を市民1人あたりで見ると	8
6 予算の概要(龍夫さんと崎子さんの会話より)	9
7 一般会計予算を家計にたとえると	14
8 平成25年度主要事業等の状況	15
9 各会計の状況	
(1) 一般会計	21
(2) 特別会計	
① 国民健康保険事業特別会計	25
② 公共下水道事業特別会計	26
③ 農業集落排水事業特別会計	26
④ 介護保険事業特別会計	27
⑤ 障がい児支援サービス事業特別会計	27
⑥ 後期高齢者医療事業特別会計	28
⑦ 介護サービス事業特別会計	28

資 料

資料 1	29
平成25年度予算編成における基本的な考え方 平成25年度予算編成方針について(政策推進部長通知)	
資料 2	37
性質別歳出予算の状況	
資料 3	38
1 人口と一般会計当初予算額の推移	
2 地方債現在高の推移(会計別)	
3 財政指標の推移と比較(普通会計)	
4 一般財源の推移	
5 将来の財政負担額の推移	

【表紙：まいりゅうについて】

〈プロフィール〉

愛称:まいりゅう

性別:男の子

チャームポイント:ハートの鼻

特技:雨を降らせること

現在、舞男(まいおとこ)になるため修行中です。

1 予算編成にあたって

～「人が元気 まちも元気 自慢したくなるふるさと 龍ヶ崎」の構築と
「財政力強化」の両立を目指して～

平成 25 年度予算は、私が市長として臨む4度目の編成、つまり、今任期の集大成として臨む予算編成となります。

まず、本市の財政状況ですが、平成 23 年度は「行政改革効果」と実質的な地方交付税総額の確保による相乗効果により良好な決算となりました。平成 24 年度の財政収支見通しは、歳入面では市税収入の減収基調が継続し、歳出面では公債費や都市再生機構償還金が高水準にあるとともに、社会保障関係費、医療給付費等の伸びが顕著となっているものの、行政改革による効果や比較的安定した収支状況などにより、引き続き一定の黒字維持が見込まれます。しかし、残念ながら「余裕がある」とまでは言えない情勢にあります。

本市の財政運営は昨年 10 月に施行した「龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例」に沿って執行することとなります。同条例には「財政力強化」のための財政運営目標(数値目標)を定めており、目標達成を目指し取り組まなければならないとしています。「財政力強化」のみを主眼とすれば、目標とする指標は短期間で好転すると考えます。

一方、本市の最上位計画である「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」における「市民活動日本一」及び「子育て環境日本一」のスローガンのもと、「人が元気 まちも元気 自慢したくなるふるさと 龍ヶ崎」の実現のため確実に前進することも我々の使命です。

この財政的には相反する二つの柱を両立させるべく、平成 25 年度予算編成に取り組みました。その結果、懸案であった「小中学校空調機整備事業」や、「マルフク対象の拡充」などを予算に計上し、重点施策の実現に大きく踏み出すとともに、基金繰り入れによる財源調整額を大幅に縮減するなど、喫緊の課題はクリアした予算とすることができたと考えています。

この予算を市勢発展の糧として、目指して行くまちの姿を実現すること、さらには、持続可能な財政基盤の構築に全力で取り組んでまいります。

龍ヶ崎市長 中山 一生

職員共々「創意と気概」をもって全力
を尽くします。
ご支援・ご協力をお願いします。



2 予算編成状況について

平成 25 年度予算編成は、東日本大震災の影響は残るものの、本市の行政運営は落ち着きを取り戻し、住民票などのコンビニ交付の開始や、平日の窓口取り扱い時間の延長及び休日の窓口取り扱いの試行など、市民の利便性向上のため新たな取組を開始し、復旧・復興優先から将来に向けた取組が徐々に本格化する中でのスタートとなりました。

予算編成に先立つ「財政収支見通し」においては、近年の経済情勢や高齢化社会の進行などにより、生活保護扶助費、医療給付費をはじめ、社会保障関係費の増加が見込まれる中、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」にかかる施策の本格化などの歳出圧力も強まり、これまでの行政改革効果を勘案しても、中期的には「収支低水準」、つまり、黒字は維持できるもののその額は些少であると見込まれました。

さて、歳入の根幹である市税ですが、景気低迷の影響や「団塊の世代」の大量退職などにより減収基調にありましたが、平成 25 年度予算では、税制改正効果もあり若干ですが増収を見込んでいます。しかし、平成 25 年度の市税見積額は約 97 億 7 千万円と、過去最高であった平成 19 年度決算額の約 109 億 7 千万円に対し 12 億円の減収となっています。

本来、市税の減収による地方の財源不足に対しては、国の地方財政計画において、地方交付税及び臨時財政対策債の「実質的な地方交付税」で一定の補てんがなされるルールとなっています。平成 25 年度の当該計画では地方税の増収を見込んでおり、市税が本格回復に至らない本市においては、厳しい状況も想定しなければなりません。

一方の歳出においては、日常の公共サービスの維持を前提としつつ、小中学校空調機整備事業、学童保育の対象を小学校 6 年生まで拡大、医療福祉事業単独分(マルフク)の対象を中学校 3 年生まで拡大、公共施設再生可能エネルギー導入事業など、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」における重点戦略に呼応した事業展開を目指すとともに、防災・減災のための都市基盤整備なども配慮したことから、査定調整は困難なものとなりました。

累次の財政健全化策の効果の顕在化もあり、基金繰り入れによる収支ギャップの調整は 3 億 5 千万円と前年度比△1 億 2 千 4 百万円(△26.2%)と大幅に縮減したうえで、懸案であった課題解決のための予算を含む新規・拡充事業を盛り込んだ予算を編成することができました。

基金による収支ギャップの調整は、平成 20 年度に 4 億円の繰り入れを行った以降は、予算執行段階における工夫・効率化による収支改善などにより、決算ベースでは財源不足が解消し、さらに、基金への積み増しも行ってきました。平成 25 年度においても政権交代による国の動向などに留意しながら、引き続き慎重に財政運営にあたっております。

○最上位計画と予算編成の考え方

本市の最上位計画である「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」は、「協働のまちづくりと地域力のアップ」、「若者・子育て世代の定住環境の創出」、「まちの活性化と知名度アップ」、「安心と住みよさが実感できる生活環境づくり」の 4 つをまちづくりの重点戦略に位置付けており、この重点戦略に沿った 12 項目の基本目標を定めています。基本目標を実行していく手法として同プランに登載している様々な「主要事業」に対し、財源を重点配分することとしています。

この主要事業については、実現性の高い計画とするため、「財政収支見通し」に基づき財源を見込んでおりますが、経済状況の変化などによる収支状況に下振れが発生した場合は、必要な財源が確保できない状況も予想されます。

そのため、引き続き行財政改革の推進により、持続可能な財政基盤を構築し、目指して行くまちの姿である「人が元気 まちも元気 自慢したくなるふるさと 龍ヶ崎」の実現を担保する財源の確保に努め、所要の予算を編成してまいります。

3 重点戦略別主要事業

協働

「協働のまちづくりと地域力のアップ」

自治基本条例の制定
まちづくりポイント制度の構築
中核的な地域コミュニティの形成（補助金活用による地域自主活動の促進）
市公式ホームページの更新

「若者・子育て世代の定住環境の創出」

子育て

小中学校空調機整備事業（全小中学校普通教室にエアコンを設置）
医療費の負担軽減（医療福祉事業単独分【マルフク】を中学校3年生まで拡大）
第3子給食費無償化（市立小中学校に3人以上同時就学時の3人目以降対象）
学童保育の対象拡大（小学校6年生まで拡大, 平成26年度完全実施）

「まちの活性化と知名度アップ」

活力

公共施設再生可能エネルギー導入事業（太陽光発電システム, LED照明導入）
龍ヶ崎ブランド戦略の実施
コミュニティビジネス支援事業
市制施行60周年記念事業（ドリームベースボール開催など）

「安心と住みよさが実感できる生活環境づくり」

クラウド型被災者支援システムの運用開始
AED配備事業（市内のコンビニエンスストア（31店）にAEDを配備）
歯周疾患検診（30, 40, 50, 60, 70歳到達時節目検診）
防災アドバイザーの配置

安心

**都市
基盤**

「施設更新などの都市基盤整備」

防災拠点整備事業（庁舎防災機能向上）
庁舎防災倉庫整備事業
市道第I-2号線改良事業（馴柴小学校通学路 拡幅改良）
城西中学校大規模改修事業（老朽改修, エアコン・太陽光発電システム）※

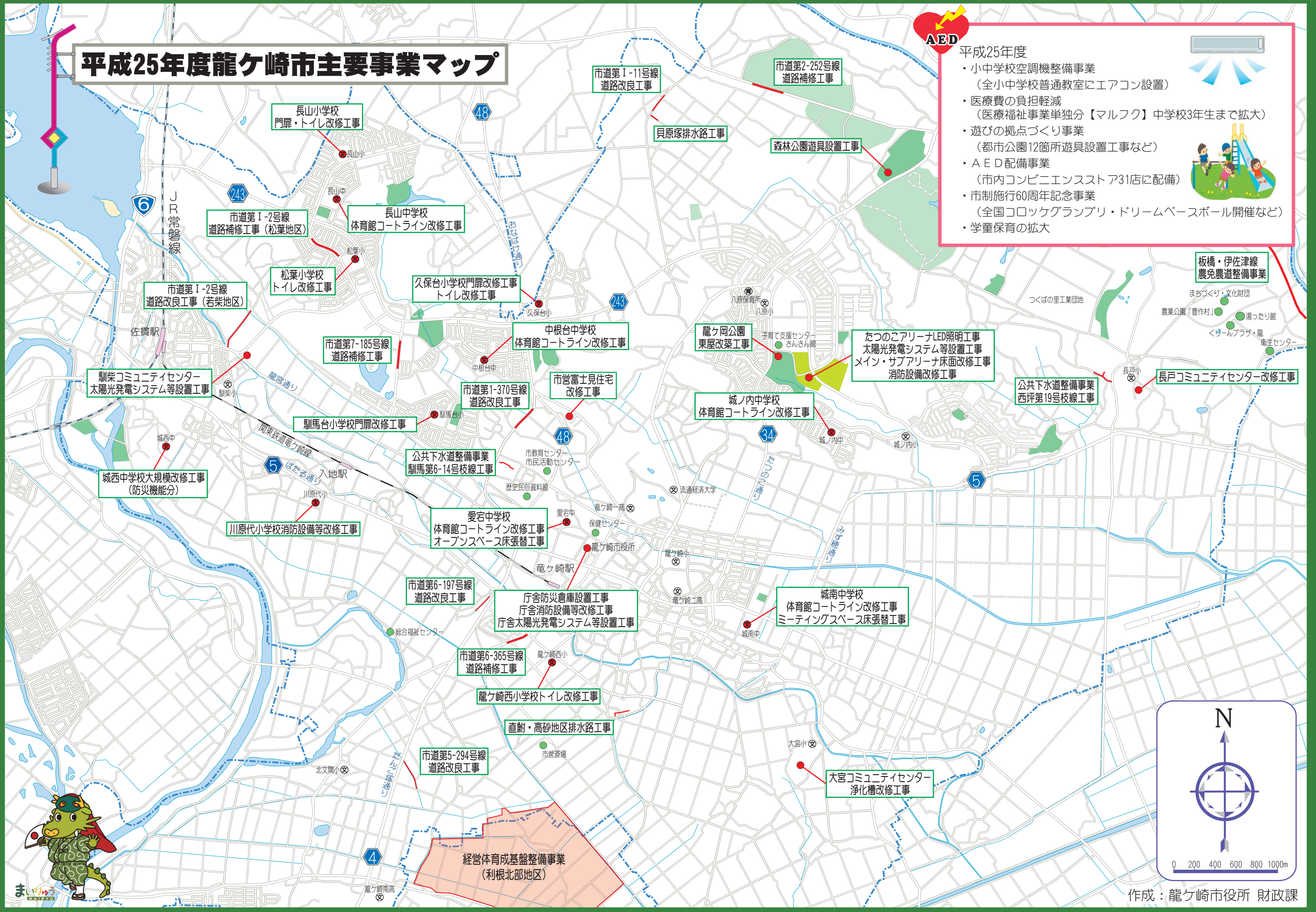
※平成24年度前倒し事業及び平成25年度事業

平成25年度龍ヶ崎市主要事業マップ

AED

平成25年度

- ・小中学校空調機整備事業
(全小中学校普通教室にエアコン設置)
- ・医療費の負担軽減
(医療福祉事業単独分【マルフク】中学校3年生まで拡大)
- ・遊びの拠点づくり事業
(都市公園12箇所遊具設置工事など)
- ・AED配備事業
(市内コンビニエンスストア31店に配備)
- ・市制施行60周年記念事業
(全国コロッケグランプリ・ドリームベースボール開催など)
- ・学童保育の拡大



板橋・伊佐津線
農免農道整備事業

まごくろ・文化財団
農業公園「豊作村」
湯つたり館
くろぐら plaza・龍
衛生センター

長戸コミュニティセンター改修工事

公共下水道整備事業
西坪第19号枝線工事

たつのこアリーナLED照明工事
太陽光発電システム等設置工事
メイン・サブアリーナ床面改修工事
消防設備改修工事

龍ヶ岡公園
東屋改築工事

城ノ内中学校
体育館コートライン改修工事

中根台中学校
体育館コートライン改修工事

市営富士見住宅
改修工事

市道第1-370号線
道路改良工事

市道第7-185号線
道路補修工事

松葉小学校
トイレ改修工事

市道第1-2号線
道路補修工事(松葉地区)

市道第1-2号線
道路改良工事(若柴地区)

馴柴コミュニティセンター
太陽光発電システム等設置工事

馴馬台小学校門扉改修工事

公共下水道整備事業
馴馬第6-14号枝線工事

川原代小学校消防設備等改修工事

愛宕中学校
体育館コートライン改修工事
オープンスペース床張替工事

市道第6-197号線
道路改良工事

庁舎防災倉庫設置工事
庁舎消防設備等改修工事
庁舎太陽光発電システム等設置工事

城南中学校
体育館コートライン改修工事
ミーティングスペース床張替工事

市道第6-365号線
道路補修工事

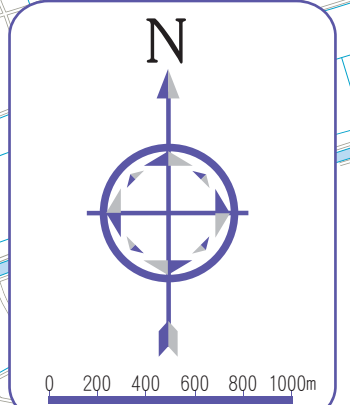
龍ヶ崎西小学校トイレ改修工事

直鮎・高砂地区排水路工事

市道第5-294号線
道路改良工事

大宮コミュニティセンター
浄化槽改修工事

経営体育成基盤整備事業
(利根北部地区)



作成：龍ヶ崎市役所 財政課

4 個別事業の内容と財源の内訳

個別のサービスなどにどのくらいの経費がかかっているのか。そして、その財源は？市の負担や利用者の負担はどうなっているのだろうか？

◎若者・子育て世代の定住環境の創出

- ・すべての小中学校普通教室にエアコンを設置し、児童、生徒の教育環境の向上を図ります。
- ・医療福祉費支給制度(マルフク)の対象年齢を中学校3年生まで拡大して、医療費負担の軽減を図ります。
- ・3人以上のお子さんが同時に市立小中学校に就学した場合、3人目以降のお子さんの給食費を無償化し、経済的負担の軽減を図ります。

小中学校空調機整備事業

5億7,750万円



主な経費(使い道)

すべての小中学校普通教室にエアコンを設置
(平成26年度稼働予定)

- 実施設計 950万円
- 設置工事費 5億6,800万円

財源内訳

- 基金繰入金 1億4,450万円
- 市債(借金) 4億3,300万円

医療福祉事業(単独分)

7,054万円



主な経費(使い道)

医療福祉費(マルフク)

- 医療福祉費支給費 6,391万円
(うち対象年齢拡大分2,321万円)
- 事務費等 663万円

※従来の所得制限撤廃による拡充, 小学校6年生までの拡大に加えて, さらに中学校3年生まで対象年齢を拡大

財源内訳

- 市の負担額 7,054万円

第3子給食費無償化

1,000万円

主な経費(使い道)

3人以上のお子さんが同時に市立小中学校に就学した場合の3人目以降の給食費負担金を無償化

- 賄材料費 1,000万円

財源内訳

- 市の負担額 1,000万円



◎まちの活性化と知名度アップ

- ・庁舎、馴染コミュニティセンター、たつこのアリーナへの太陽光発電システム、蓄電池、高所LED照明の導入により、環境への負荷が少ないエネルギーの利用を推進し、環境にやさしいまちづくりに努めます。
- ・市制施行60周年にあたり、60周年記念式典の実施や「るるぶ(龍ヶ崎市版)」の発行、全国コロッケグランプリ、元プロ野球選手によるドリームベースボールの開催などにより、ふるさとへの愛着や誇りを高めるとともに、その魅力を市内外へ情報発信していきます。

公共施設再生可能エネルギー導入事業

9,200万円

主な経費(使い道)

庁舎、馴染コミュニティセンター、たつこのアリーナに太陽光発電システム、蓄電池、高所LED照明を導入(LED照明はたつこのアリーナのみ)

- 実施設計 210万円
- 設置工事費 8,990万円

財源内訳

- 県からの補助金 8,700万円
- 市の負担額 500万円



市制施行60周年記念事業

1,698万円



主な経費(使い道)

「るるぶ(龍ヶ崎市版)」発行、市偉人伝作成、ドリームベースボール開催など

- 市偉人伝作成等委託料 210万円
- 「るるぶ(龍ヶ崎市版)」作成費負担金 700万円
- ドリームベースボール開催等補助金 106万円
- 60周年記念式典等交付金 628万円
- その他 54万円

財源内訳

- 市の負担額 1,698万円

◎安心と住みよさが実感できる生活環境づくり

- ・多くの市民が利用する市内のコンビニエンスストア(31店)にAEDを配備し、救命体制の向上を図ることにより、市民の生命の安全を確保し、安心して生活できる環境づくりを推進します。

AED配備事業

387万円



主な経費(使い道)

市内のコンビニエンスストア(31店)へのAEDの配備

- AED設置費 387万円
(リース料、電気料負担金)

財源内訳

- 市の負担額 387万円

5 一般会計予算を市民1人あたりでみると

平成25年度市民1人あたりの予算(一般会計)は、289,603円です。
それを支える市民1人あたりの負担(市税)は、122,562円です。

<p style="text-align: center;">総務費</p> <p>・コミュニティ活動の充実と効率的な行政運営のために</p> <p style="text-align: center;">36,395円</p> 	<p style="text-align: center;">民生費</p> <p>・子育て支援とともに、お年寄りや障がいのある人のために</p> <p style="text-align: center;">102,009円</p> 	<p style="text-align: center;">衛生費</p> <p>・健康づくりの推進や環境を守るために</p> <p style="text-align: center;">28,739円</p> 
<p style="text-align: center;">農林水産業費</p> <p>・地域の特性を活かした農業振興のために</p> <p style="text-align: center;">5,629円</p> 	<p style="text-align: center;">土木費</p> <p>・生活道路や公園整備のために</p> <p style="text-align: center;">17,710円</p> 	<p style="text-align: center;">消防費</p> <p>・市民の生命・財産を守る、消防力の強化と緊急時における防災・減災体制の充実のために</p> <p style="text-align: center;">12,544円</p> 
<p style="text-align: center;">教育費</p> <p>・学校教育や青少年育成, 文化・スポーツ振興のために</p> <p style="text-align: center;">40,611円</p> 	<p style="text-align: center;">公債費</p> <p>・市債(借金)の返済のために</p> <p style="text-align: center;">40,218円</p> 	<p style="text-align: center;">議会費・商工費など</p> <p>・市政運営チェックのために ・商店街のにぎわい創出や企業の発展, 雇用創出のために</p> <p style="text-align: center;">5,748円</p> 

(注) 各項目の数値は、予算額を平成25年1月1日現在の住民基本台帳人口(79,744人)で除したものです。

6 予算の概要(龍夫さんと崎子さんの会話より)

ここでは、平成25年度予算について、龍夫さんと崎子さんに登場してもらい、編成状況や概要について紹介します。



崎子 予算編成終了～！終わりましたね、先輩。去年は、言われたことをバタバタとやっていたら、いつの間にか終わった感じでしたけど、今年は、任せてもらった仕事もありましたし、私が担当した部門の新規事業も計上された積極予算、充実感があります。

龍夫 お疲れ様。ずっと忙しくて、やっと一息だね。でも、まだ終わったわけじゃないよ。これから、予算の説明や周知、そして執行管理。予算は編成も大事だけれど、執行も大事なんだよ。

崎子 すみません。ちょっと充実感に浸っていました。予算編成終了はゴールじゃなくて、来年度のスタートですよ。

龍夫 そのとおり。特に今年は、国の大型補正予算や、当初予算編成が遅れている関係もあって、市でも補正予算の調製や予算執行上の対応も多くなると思うよ。まずは、平成25年度予算について、崎子さんに説明してもらおうかな？財政担当たる者、説明責任は果たさないとね。

崎子 了解です。では、平成25年度予算の概要について説明します。

龍夫 うん。まず、平成25年度の市の予算総額は約379億円で、4年連続で増額予算となっているね。主な要因はなんだい？

予算総括表

(単位:千円, %)

会計別	平成25年度	平成24年度	比較	増減率	
一般会計	23,094,000	22,247,000	847,000	3.8	
特別会計	国民健康保険事業	7,519,000	7,149,000	370,000	5.2
	公共下水道事業	2,064,500	2,141,000	△76,500	△3.6
	農業集落排水事業	58,600	56,700	1,900	3.4
	介護保険事業	4,089,000	3,960,000	129,000	3.3
	障がい児支援サービス事業	37,300	29,200	8,100	27.7
	後期高齢者医療事業	1,051,000	962,100	88,900	9.2
	介護サービス事業	14,600	12,800	1,800	14.1
	特別会計合計	14,834,000	14,310,800	523,200	3.7
総計	37,928,000	36,557,800	1,370,200	3.7	

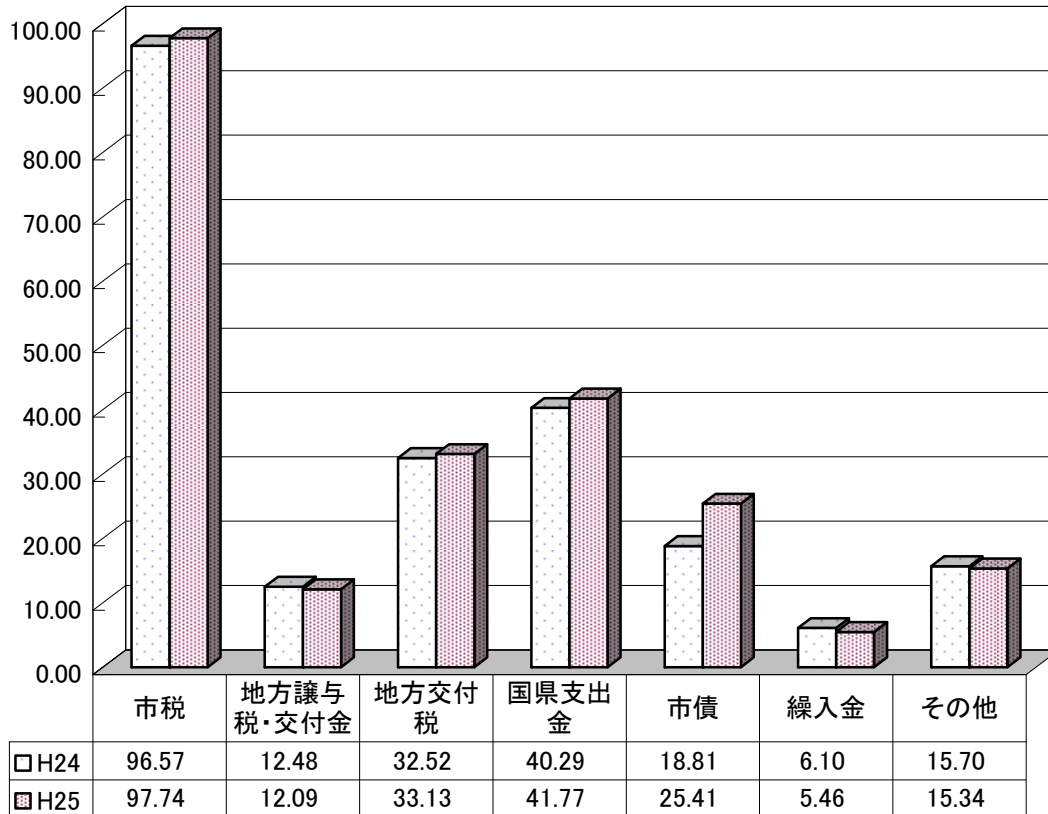
崎子 一般会計も前年度対比で3.8%の増額予算になっていますけど、医療給付、介護給付

にかかる特別会計の予算額の増加基調が続いています。つまり、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業がこれに該当しますね。それから、公共下水道事業は施設整備の進捗や公債費の縮減で前年度対比△3.6%。唯一の減額予算となっています。

龍夫 そう。それじゃ一般会計について、もう少し詳しく説明してもらおうかな。平成 25 年度予算はどのようになっているかな？

(単位:億円)

歳入の状況



崎子 はい。平成 25 年度の一般会計予算の総額は 8 億 4 千 7 百万円増の 230 億 9 千 4 百万円です。まず、歳入ですけど、昨年度は減収だった市税が 1 億 1 千 7 百万円増の増額に転じています。

龍夫 市民税の個人所得割や固定資産税の家屋、市たばこ税が増収。反面、固定資産税の土地は、地価の下落が止まらないことなどで引き続き減収を見込んでいるね。

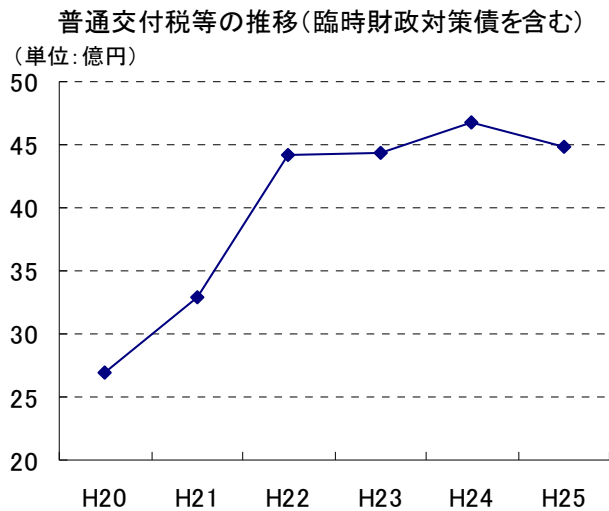
崎子 そうなんです。でも、個人所得割とたばこ税の増収は税制改正の影響もあるので、残念ながら経済成長を伴った本格的な回復とは考えにくいですね。新築家屋の増加は好材料ですけど。

龍夫 さすが元税務担当だね。次に地方交付税はどのように見込んだの？確か先日報道の国の地方財政対策によれば、前年度対比で△4 千億円、△2.2%の減、臨時財政対策債を含む「実質的な地方交付税」も△3 千億円、△1.3%だったよね。

崎子 え〜と、地方交付税は地方の財源保障機能がありますけど、当然、各市町村が欲しい

だけ交付される訳ではなく、全国一律の基準で算定されます。龍ヶ崎市では国全体の総額の減少に加え、算定対象の一部事務組合の組合債償還負担金の減少などにより、減額で見込んでいます。

龍夫 そうだね。当初予算段階の前年度対比だと増収に見えるけど、平成 24 年度決算見込額との対比だと△1 億 8 千 9 百万円の減額だね。けれども、普通交付税の算定に反映される市債や組合債の償還額はきちんと管理しているから、今回の減収は想定範囲だよね。



崎子 昨年 10 月施行の「龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例」で公表を義務化した「財政収支見通し」算定の際にも見込みましたね。地方交付税の試算は、国の総額と市町村の個別事情など様々な要因が影響しますから慎重に見込まないといけませんね。

龍夫 そのとおり。過大な見積りをして、実際の算定額との差額が大きなマイナスとなると、公共サービスなどへの影響も否定できないからね。次は、国県支出金、前年度対比で 1 億 4 千 8 百万円の増額だね。

崎子 国県支出金は民生費関係の国県負担分の伸びが大きくなっています。生活保護費などの社会保障関係費に対する歳出に合わせて、財源負担のルールにより歳入が決まるパターンが多いのが民生費関係の国県負担分の特徴です。もちろん、市の負担分もあるから、自主財源の確保はますます重要ですね。

龍夫 市債も前年度対比で 6 億 6 千万円の増額となっているね。

崎子 これには大きな要因が 2 つあります。1 つは小中学校空調機整備事業などの財源のための市債 4 億 4 千 3 百万円の計上。もう 1 つは、市債の一括償還にかかる借換債を 2 億 1 千 9 百万円計上しているからです。

龍夫 その要因を除くと前年度並だね。それじゃ次に、歳出について見てみよう。特徴的なのは何かな？

崎子 一般会計の歳出は、民生費が 2 億 3 千 6 百万円増額の 81 億 3 千 5 百万円、構成比が 35.2%と他に比べて飛び抜けています。生活保護扶助費や障がい者自立支援給付費など社会保障関係費の増、医療・介護給付費の伸びなどによる特別会計への繰出金の増などによるところが大きいですね。

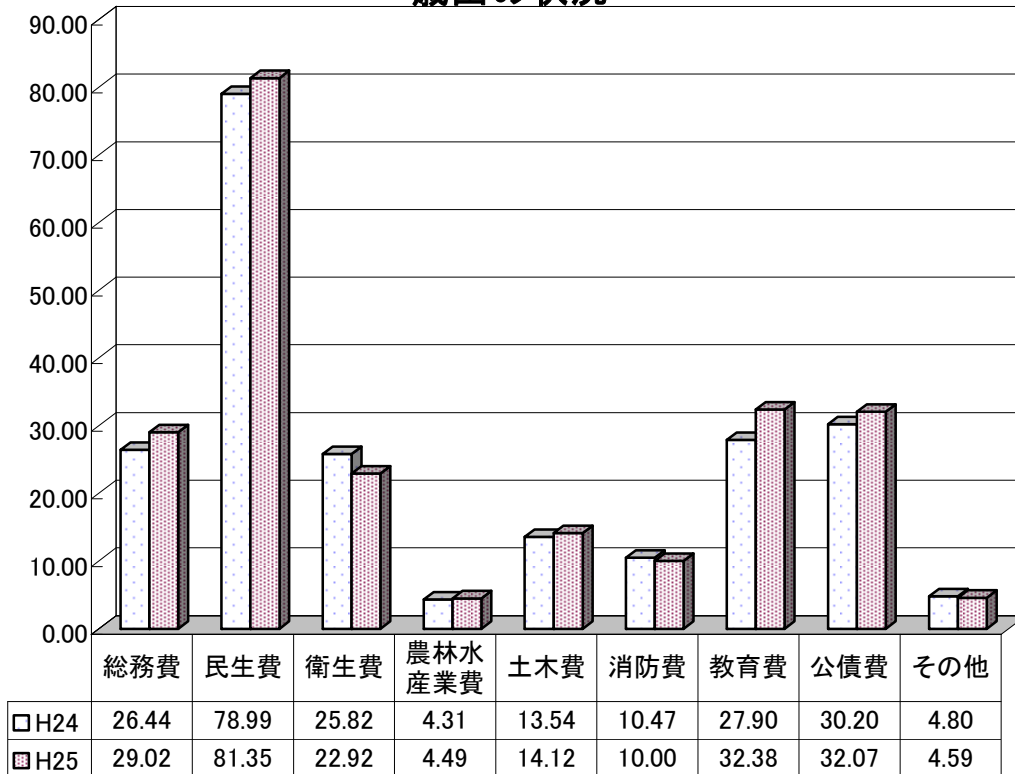


龍夫 子育て支援の需要も拡大しているね。この分野は経常的な経費が大部分だし、景気の動向や本格的な少子高齢社会の到来を考えると、今後も増加基調が続くだろうね。

崎子 そうですね。でも、これからの社会を支える必要経費と考え、何としても財源を確保して、必要な予算づけをしたいですね。

(単位:億円)

歳出の状況



龍夫 これからは、生産年齢人口の減少などで担税能力の減少が予想される。そのため、従来の公共サービスをそのまま続けることは難しくなってくる。このような社会情勢の下、地域力の向上を図り、公共を皆で担うという理念に基づく「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」を着実に実行していくことが、これからの重要な課題となってくるね。

崎子 そうですね。この「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」では、「協働のまちづくりと地域力のアップ」、「若者・子育て世代の定住環境の創出」、「まちの活性化と知名度アップ」、「安心と住みよさが実感できる生活環境づくり」という4つの重点戦略が示されていますね。

龍夫 「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」は龍ヶ崎市にとっての最上位計画だから、平成25年度の予算編成においても、登載された事業は優先的に予算化したよね。具体的な事業については、重点戦略ごとに整理してあるから詳細は後で見てもらおうとして、崎子さんが特筆しておきたい事業を説明してくれるかな？

崎子 はい。「市民活動日本一」では、地方自治の基本的なあり方や枠組みを定める「自治基本条例」の制定、地域コミュニティ組織の活動支援、設立支援も拡充しますし、地域コミュニティの中核施設である地区コミュニティセンターの改修や備品整備のための予算も計上されています。

龍夫 新たな地域経営の仕組みの構築のためにも、地域コミュニティの充実は大切だからね。

次に「子育て環境日本一」では何があるかな？

崎子 待ってました！まずは小中学校空調機整備事業です。これは、教育環境の向上や熱中症予防などのために、すべての普通教室にエアコンを設置するものです。来年の夏には使える予定、学力アップにもつながるといいですね。あと、ハード事業では城西中学校大規模改修事業（平成 24 年度前倒し事業）ですね。老朽更新などのほか、太陽光発電システムなど環境負荷にも配慮した整備を計画していますよ。

龍夫 子どもたちの教育環境や防災力の向上に対する取り組みは欠かせないね。ソフト事業は何があるのかな？

崎子 小児マルフクを中学校 3 年生まで市の単独事業として拡大します。これで生まれてから義務教育終了までマルフクの対象となり、安心して医療を受けられますね。あとは、同一年度に 3 人以上のお子さんが市内の小中学校に就学した場合、3 人目以降のお子さんの給食費を無償とします。

龍夫 子育て世代の支援がますます充実するね。あれ、学童保育も拡大じゃなかった？

崎子 そうでした。学童保育も対象者を小学校 6 年生まで拡大します。施設整備などが必要な八原小、城ノ内小は平成 26 年度からですけど、その他の小学校 11 校では完全実施できる見込みです。



龍夫 両親とも働いている家庭などには朗報だね。さて、その他の事業も紹介してもらおうかな。

崎子 防災・減災関連では、市内のコンビニエンスストアに AED を配備し、年中無休や 24 時間営業などのメリットを生かして、万が一の事態に備えます。その他、自然災害の発生や新型インフルエンザの流行に備えて、防災倉庫の整備や備蓄品の拡充も予定しています。

龍夫 平成 25 年度は市制施行 60 周年の節目だよ。記念イベントも紹介してよ。

崎子 はい。記念式典はもちろん、元プロ野球選手によるドリームベースボールや、全国コロッケグランプリの開催、「るるぶ（龍ヶ崎市版）」の発行など盛りだくさんです。お楽しみに！！

龍夫 久しぶりの積極予算となったね。予算編成段階での財源不足も 3 億 5 千万円と前年度対比△1 億 2 千 4 百万円（△26.2%）とすることができたんだ。もちろん、予算執行段階の工夫や効率化で解消しなければならないけどね。さあ、「自慢したくなるふるさと龍ヶ崎」の実現を目指して頑張ろう。

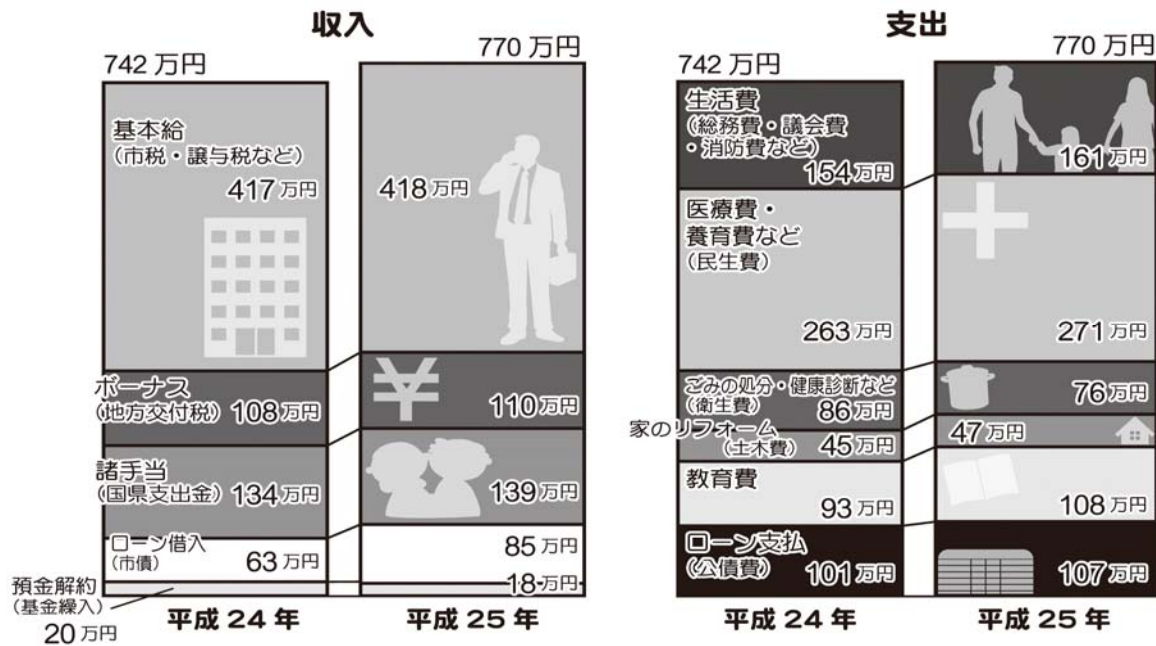
崎子 それでは、私たちの団結と地元経済活性化のために飲みに行きましょう！

龍夫 本日の仕事をこなすことが優先。終わったのか？

崎子 頑張ります・・・

7 一般会計予算を家計にたとえると

平成 25 年度一般会計予算を家計にたとえて、昨年度と比較しました。市の予算は、市民の皆さんの生活と密接な関係にある重要なものです。予算の有効な使い方を考えてみましょう。



区 分	H24	H25
預金(基金)残高	97 万円	86 万円
ローン(市債)残高	884 万円	885 万円

平成 25 年度の一般会計予算は約 231 億円です。これを 3,000 分の 1 にスケールダウンして「龍ヶ崎家」の予算としました。龍ヶ崎家は会社員のお父さん、お母さん(共働き)、子ども 2 人、お母さんの両親と同居です。

まずは収入です。龍ヶ崎さん夫妻が働く会社の業績は、本格的な回復には至らないものの、お母さんの昇給により基本給(市税・譲与税等)は 1 万円増の 418 万円、ボーナスも 2 万円増の 110 万円となりました。諸手当(国県支出金)は医療費などの増加により 5 万円増の 139 万円にしてもらいました。

次に支出です。生活費は、食費や衣類など日常の費用(総務費など)は切り詰めましたが、火災報知機や消火器の交換など(防災拠点整備事業など)を予定して 7 万円増の 161 万円となりました。医療費・養育費など(民生費)は、両親の医療費や介護サービス利用料の増加などで 8 万円増の 271 万円と伸びが続き、家計の中で最大規模となっています。ごみの処分など(衛生費)は、ごみ処理装置の分割払い(塵芥処理組合償還費負担金)が少なくなったので 10 万円減の 76 万円です。予定のとおりとはいえ助かります。

教育費は昨年の後半に決断した子ども部屋のリフォーム(城西中学校大規模改修事業)に続き、今年度はエアコンを設置(小中学校空調機整備事業)することにしました。これにより子どもたちの健康維持と成績アップにつながればと期待しています。もちろん、学習塾の月謝や高校の授業料などは変わりませんから、15 万円増の 108 万円と大幅アップです。

このままでは、家計が賅えないので、エアコン設置はローンを組み、本社(国)の連帯保証付きの生活費ローン(臨時財政対策債)などを借入れることにして、ローン借入は 22 万円増の 85 万円、預金解約(基金繰り入れ)も 18 万円を予定しています。この結果、この数年来、積み立ててきた預金(基金)残高は 11 万円減の 86 万円、減り続けていたローン(市債)残高もほぼ横ばいの 885 万円となりましたが、子どもたちのための「未来への投資」です。安定した生活設計を目指し、家族会議で「家計の力強化計画(中期財政計画)」を決定しました。家族全員の力を合わせて未来を切り拓くことが龍ヶ崎家の家訓です。頑張れ！龍ヶ崎家！！

8 平成25年度主要事業等の状況

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業							
重点戦略1 協働のまちづくりと地域力のアップ							
1	市民協働課	01001400	市民行政推進活動費	まちづくりポイント制度の構築	運営準備・ポイント制度試行	運営準備・ポイント制度試行	1,500
2	市民協働課	01001400	市民行政推進活動費	協働事業提案制度	協働事業提案の募集・実施 アイデア提案の募集	まちづくり協働事業交付金	1,000
3	市民協働課	01001400	市民行政推進活動費	公共施設里親制度の拡充	公共施設里親制度の運用	ボランティア保険	300
4	市民協働課	01001400 01003700	市民行政推進活動費 市民活動センター管理運営費	市民活動の支援	補助金公募制度見直し、H25から団体設立支援補助金制度を実施(@10万円×5団体/年) 市民活動センターの運営(まちづくり協働事業500万円)	市民活動団体立上支援、市民活動センター運営	5,500
5	企画課	01003150	自治基本条例策定費	自治基本条例の制定	・検討委員謝礼等 ・パンフレット作成	検討委員謝礼・パンフ作成	533
6	情報政策課	01002300	広報活動費	政策情報誌の発行	作成費用	政策情報誌作成・配布	946
7	情報政策課	01003300	地域情報化推進費	情報発信システムの構築	メール配信サービス運用経費	メール配信サービス運用経費	1,449
8	情報政策課	01002300	広報活動費	市公式ホームページの充実と幅広い活用	WEBサーバのクラウド化 市HPリニューアル・CMS導入	初期設定費用等、運用経費	8,034
9	市民協働課	01006060	地域コミュニティ推進費	中核的な地域コミュニティの形成	地域コミュニティ補助(均等割100万円+戸数割@500円+設立加算50万円) 設立準備会補助(@10万円)	地域コミュニティ(7)、設立準備会(2)	18,500
10	市民協働課	01004110	コミュニティセンター管理費	地域活動拠点の充実(1)	ミセン機能維持 屋根・外壁・内装修繕 ※空調機更新は除く(施設維持更新で計上)	屋根・外壁(長戸外)、内装修繕	45,300
11	市民協働課	01004110	コミュニティセンター管理費	地域活動拠点の充実(2)	ミセン備品購入 老朽化した机・椅子等の備品の更新を行う。	備品購入(机・椅子等)	3,900
12	市民協働課	01004110	コミュニティセンター管理費	地域活動拠点の充実(3)	印刷機が未設置のコミュニティセンターに、新たに備え付ける(リース)。	印刷機リース・消耗品(7館分)	1,095
13	市民協働課	01005100	自治組織関係経費	新たなまちづくり補助金制度の活用促進	中核的な地域コミュニティ未設立地区の住民自治組織への補助金交付	地域づくり補助金	5,760
14	市民協働課	01005100	自治組織関係経費	地域住民の意識啓発	住民向け研修会の開催(講師謝礼)	住民向け研修会の開催	170
重点戦略2 若者・子育て世代の定住環境の創出							
15	こども課	01014200 01014300 01014400 01014450 01014700 01014850	私立保育所運営費 私立保育所保育助成事業 公立保育所管理運営費 被災保育所緊急対策事業 管外保育所運営費 すこやか保育応援事業	保育・預かりサービスの充実(1)	①私立保育所運営費 ②私立保育所保育助成事業 ③公立保育所管理運営費 ④被災保育所緊急対策事業 ⑤管外保育所運営費 ⑥すこやか保育応援事業	保育サービスの充実	1,246,139

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
16	こども課	01013400 01013600	子育てサポート利 用料助成事業 子育て支援施設管 理運営費	保育・預かりサー ビスの充実(2)	ファミリーサポ [○] ーター運営(国補 助)・リフレッシュ保育業務委託・子育 てサポート利用料助成事業(市単)	預かりサービス の充実	9,458
17	青少年育成課	01013300	放課後児童健全育 成事業	保育・預かりサー ビスの充実(3)	放課後児童健全育成事業	学童保育6年生 まで拡大(城ノ 内小・八原小を 除く)	105,681
18	施設整備課	01024300 01024400	都市公園管理費 森林公園管理運営 費	遊びの拠点づくり	森林公園・龍ヶ岡公園などの遊 びの拠点づくり, 長寿命化計画 に基づく遊具更新・施設改修	遊具更新・施設 改修等	58,000
19	健康増進課	01015700	医療対策事業	緊急時の医療体制 の確保	休日・夜間における小児救急患 者の医療確保(小児緊急医療輪 番制) ※牛久・稲敷・河内・阿見・美浦 (H25代表市町村→龍ヶ崎)	休日・夜間の小 児救急患者医 療確保	6,841
20	こども課	01013500	次世代育成支援対 策事業	たつのご育て応援 の店・施設の拡充	子連れの外出の応援店舗の拡 充推進 設置費補助金@10万円×10施 設	設置費補助金	1,000
21	保険年金課	01012200	医療福祉事業(単 独分)	医療費と給食費の 負担軽減(1)	小児マルワ対象児童の対象年齢 を中学校3年生まで拡大し, 医療 費の自己負担分の一部を助成 する。	小児マルワ対 象を中3まで拡 大 ※拡大分 (2,321万円)	70,538
22	学校給食センター	01032100	学校給食運営費	医療費と給食費の 負担軽減(2)	給食費の段階的な負担軽減	給食費負担軽 減	10,000
23	健康増進課	01016000	子育て相談事業	相談・支援体制の 充実(1)	赤ちゃん訪問・乳児健康相談	赤ちゃん訪問・ 乳児健康相談 外	3,611
24	こども課	01012900	家庭児童相談事業	相談・支援体制の 充実(2)	家庭児童相談事業	家庭児童相談 事業	2,808
25	こども課	01013700	第3子支援事業	3人っ子応援制度	出産祝金 すくすく保育助成	出産祝金, すく すく保育助成	21,323
26	指導課	01027300	学習充実支援事業	学力の向上	非常勤講師の配置 ・学習充実指導非常勤講師 ・学びの広場サポ [○] ーター	学習充実指導・ 学びの広場サポ [○] ーター	30,236
27	学務課	01028250 01028950	小学校読書活動推 進事業 中学校読書活動推 進事業	学校図書の実充	小中学校図書館司書嘱託員配 置	小中学校図書 館司書配置	17,951
28	教育センター	01027700 01027900	教育センター活動 費 さわやか相談員派 遣事業	教育支援体制の充 実	教育センター活動費 さわやか相談員派遣	教育センター運 営 ・相談事業	25,856
29	学務課	01026500	教育の日推進事業	学校・家庭・地域連 携による特長的な 教育環境の創出 (1)	教育の日推進事業	教育の日関連 事業実施	300
30	青少年育成課	01029900	青少年育成事業	学校・家庭・地域連 携による特長的な 教育環境の創出 (2)	地域の青少年育成活動の推進 ・子ども会・青少年育成龍ヶ崎 市民会議の活動支援	子ども健全育 成事業交付金・ 青少年非行防 止健全育成推 進事業交付金	560
31	企画課	01004000	地域振興事業	龍・流連携事業の 拡大	・学生ボランティア派遣用自転車修 繕 ・傷害保険	学生ボランティア 支援	69
32	指導課	01027250	特色ある学校づくり 事業	特色ある学校づく り	新規事業創設	イベント実施	2,000

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
重点戦略3 まちの活性化と知名度アップ							
33	まちづくり推進課	01020900	観光物産事業	牛久沼の有効活用	・牛久沼関連イベント開催	牛久沼関連イベント開催	200
34	まちづくり推進課	01020900	観光物産事業	龍ヶ崎ブランドアクションプランの策定・実行	龍ヶ崎ブランドの開発・地域資源の再認識・魅力のPR	ブランド戦略策定・戦略会議運営	3,116
35	農政課	01018950	龍ヶ崎ブランド育成事業	農産品の龍ヶ崎ブランド認定制度の構築	ブランド認定制度運用, 特別栽培米作付拡大	ブランド認定制度運用, 特別栽培米作付拡大	2,500
36	農政課	01018950	龍ヶ崎ブランド育成事業	直売の場の拡大	朝市開催等, 出店農家拡大PR	出店農家拡大PR	99
37	農政課	01018700	農業総務事務費	農業体験の拡大	農業体験イベントの開催	農業体験イベントの開催	50
38	商工振興課	01020500	商工事務費	既存企業の支援	中小企業事業資金制度信用保証料補給金, 企業誘致奨励金	中小企業事業資金制度信用保証料補給金, 企業誘致奨励金	37,487
39	商工振興課	01020500	商工事務費	起業支援	コミュニティビジネス等への新たな起業支援(支援制度の構築・周知活動)	コミュニティビジネス等支援, 情報発信等	1,967
40	企画課	01004000	地域振興事業	市民大学講座の充実	市民大学講座講師謝礼	市民大学講座講師謝礼	130
41	企画課	01004000	地域振興事業	大学運動部のバックアップ	応援バスツアー参加グッズ購入 応援横断幕作成	大学運動部応援ツアー等費用	154
42	企画課	01003000 01004000	企画調整事務費 地域振興事業	学生割引サービスの拡大	ポスター・パンフレット作成 アンケート調査委託(H25)	ポスター・パンフレット作成, アンケート調査	396
43	環境対策課	01016600	環境行政推進費	自然エネルギーの利用促進(1)	太陽光発電システム等導入補助(H24・25・26)	太陽光発電システム等導入補助	15,800
44	環境対策課	01016650	再生可能エネルギー導入促進事業	自然エネルギーの利用促進(2)	庁舎・アリーナ・馴染コミュニティセンターに太陽光発電システム, 蓄電池を導入	公共施設への再生可能エネルギー導入	87,000
45	環境対策課	01016650	再生可能エネルギー導入促進事業	高効率照明(LED)の普及促進	公共施設への導入(たつのこアリーナ), LEDの普及促進	公共施設への導入, LEDの普及促進	5,000
46	環境対策課	01017800	ごみ減量促進費	バイオマスの利用拡大	BDF購入	BDF購入	725
47	環境対策課	01017800	ごみ減量促進費	生ごみ減量の推進	・タンホールコンポスト ・「生ごみ処理容器等購入補助金交付」の復活	タンホールコンポスト・生ごみ処理容器等の購入助成	1,160
48	環境対策課	01017800	ごみ減量促進費	地域リサイクル事業の充実	サンデーリサイクル事業の実施	サンデーリサイクル事業の実施	2,504
重点戦略4 安心と住みよさが実感できる生活環境づくり							
49	危機管理室	01025800	自主防災組織活動育成事業	地域における防犯活動の充実	・自主防災組織結成助成 ・資機材補助	組織結成・資格取得等助成, 既存組織活性化	4,020
50	危機管理室	01025500	防災活動費	情報伝達系の強化	・デジタルMCA回線使用料	回線使用料	1,512

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
51	危機管理室	01025500	防災活動費	被災者支援システムの構築	H24システム構築(情報政策課) H25から運用開始(危機管理室)	システム保守・運用費用	882
52	危機管理室	01025700	非常災害用備蓄費	災害備蓄の充実と災害援助協定等の拡大	・備蓄品充実	防災コンテナ備蓄品の補充、災害援助協定拡大	5,000
53	社会福祉課	01010300 01011700	障がい者福祉事業 在宅高齢者生活支援事業	災害時の要援護者避難支援	社会福祉:障がい者意向調査等(183千円) 高齢福祉:高齢者意向調査等(268千円) 災害時要援護者管理システム保守 ※H23年度導入(409千円)	対象者への意向調査、災害時要援護者管理システム保守	860
54	危機管理室	01005300 01005400	防犯活動費 北竜台防犯ステーション管理費	地域防犯活動の充実	・防犯サポーター嘱託員報酬 ・北竜台防犯ステーション(HBS)管理	防犯パトロール、防犯ステーションの運営等 交番設置に向けた要望活動の継続	11,731
55	都市計画課	01003800	コミュニティバス運行事業	高齢者向け市内公共交通定期券の発行	おたっしゅバス(コミバス定期)の運用、共通定期券ニーズ等検証	おたっしゅバスの運用等	396
56	健康増進課	01015800 07003200	健康づくり推進事業 げんきあっぷ!応援事業	高齢者の健康づくりの推進(1)	元気アップ運動講座・普及員養成講座・研修会、睡眠に関する健康づくり事業	元気アップ運動講座、快眠(フォー)教室・睡眠講演会、普及員研修会・養成講座	2,914
57	高齢福祉課	07003000	介護予防普及啓発事業	高齢者の健康づくりの推進(2)	介護予防事業(高齢福祉課) 健康ウォーキング講座等	介護予防講座(高齢福祉課)	310
58	社会福祉課	01009800 01010800 10500200	社会福祉協議会助成費 障がい者地域生活支援事業 障がい児通所支援事業	障害福祉サービス提供と障がい者家族の負担軽減	あざみ・つぼみ園運営 生活訓練等(夜間支援)事業 ※新規-重症心身障害者の短期入所事業(594千円)	あざみ・つぼみ園運営 短期入所・生活訓練等(夜間支援)事業	17,711
59	健康増進課	01015700	医療対策事業	緊急時の医療体制の確保	休日夜間の救急医療体制の確保(病院群輪番制:医師会委託 1日2箇所) ※牛久・稲敷・河内・美浦(H25代表市町村→龍ヶ崎)	休日・夜間の医療確保	40,214
60	都市計画課	01003800	コミュニティバス運行事業	コミュニティバスの充実(1)	・コミュニティバスの運行	コミュニティバス運行	47,952
61	都市計画課	01005700	公共交通対策費	コミュニティバスの充実(2)	・乗合タクシー H24.7月～	乗合タクシー運行	5,170
戦略プラン					合計		2,003,318

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
公共施設インフラ整備事業							
1	施設整備課	01022800	道路改良事業	市道I-2号線交通安全事業	若柴町地区(馴柴小通学路)の道路を拡幅し、道路利用者の安全を確保する。	道路改良工事・分筆登記	49,000
2	施設整備課	01022850	市道第3-113号線整備事業	市道第3-113号線道路改良事業	板橋地域への連絡道路を整備する。	用地買収・不動産鑑定・分筆登記	5,457

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
3	施設整備課	01022600	交通安全施設整備事業	交通安全施設整備事業	交通危険箇所の改善, 交通事故防止の安全対策を図る。	カーブミラー・ガードレール等設置	10,000
4	下水道課	01023300	排水路整備事業	排水路整備事業	排水路整備により, 冠水・浸水を解消する。	貝原塚町, 直耐・高砂地区, 破竹川上流	25,000
公共施設 インフラ整備						合計	89,457

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
公共施設の維持更新事業							
5	財政課	01002700	庁舎管理費	防災拠点整備事業	経年劣化により消防設備等を改修する。	消防設備等改修	48,300
6	財政課	01002700	庁舎管理費	防災拠点整備事業	老朽化した倉庫を更新する。	防災倉庫設置	10,648
7	市民協働課	01004110	コミュニティセンター管理費	コミュニティセンター設備の計画的更新	老朽化した空調機器の更新	空調機更新	4,200
8	都市計画課	01024900	市営住宅管理費	市営住宅改修	計画的な維持管理により, 施設の長寿命化を図る。	3・4・5号棟外壁塗装・屋根改修	45,000
9	施設整備課	01022800	道路改良事業	道路改良事業	路面老朽箇所等の改良により生活道路の安全性を確保する。	道路改良・舗装・道路排水設備工事	98,907
10	下水道課	03000600	公共下水道管理費	下水道管渠等補修工事	長寿命化計画に基づく維持管理を行う(H24計画策定)。	マンホールふた交換等	8,322
11	下水道課	03000900	公共下水道整備事業	公共下水道整備事業(汚水)	駒馬・長戸・八代地区の管渠整備を推進し, 水洗化を促進する。	公共下水道整備(汚水)	39,520
12	学務課	01028100	小学校管理費	小学校施設整備事業(城ノ内小)	H22~26:教室不足対応として, 設置した仮設校舎リース, H27~31継続	リース継続(H22~26)	3,633
13	学務課	01028100	小学校管理費	小学校施設整備事業(八原小)	H25~29:教室不足対応として, 設置した仮設校舎リース	リース新規(H25~29)	5,418
14	学務課	01029300	中学校施設整備事業	中学校施設整備事業(城西中)	H24~27大規模改修実施(老朽箇所等)	校舎改修工事・施工監理	20,800
15	学務課	01028800	中学校管理費	中学校施設整備事業(城ノ内中)	H22~26:教室不足対応として設置した仮設校舎リース, H27~31継続	リース継続(H22~26)	6,153
16	学務課	01028600	小学校施設整備事業	小学校施設整備事業	施設設備の老朽危険箇所の改修工事実施(各校要望含)	各小学校改修工事	10,000
17	学務課	01029300	中学校施設整備事業	中学校施設整備事業	施設設備の老朽危険箇所の改修工事実施(各校要望含)	各中学校改修工事	7,000
18	学務課	01028600	小学校施設整備事業	小学校施設整備事業(空調機)	普通教室へ空調機を設置することにより教育環境を改善する。	・実施設計 ・空調設備工事	414,840
19	学務課	01029300	中学校施設整備事業	中学校施設整備事業(空調機)	普通教室へ空調機を設置することにより教育環境を改善する。	・実施設計 ・空調設備工事	162,660

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
20	スポーツ振興課	01031600	たつのこアリーナ管理運営費	たつのこアリーナ改修事業(1)	メイン・サブアリーナ床研磨・塗装改修工事	メイン・サブアリーナ床研磨・塗装改修工事	11,429
21	スポーツ振興課	01031600	たつのこアリーナ管理運営費	たつのこアリーナ改修事業(2)	消防設備修繕工事	消防設備修繕工事	5,618
公共施設の維持更新					合計		902,448

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
その他の事業							
22	実行委員会	01006080	市制施行60周年記念事業	市制施行60周年記念事業	イベント等開催	イベント等開催	16,977
23	健康増進課	01015750	成人保健事業	歯周疾患検診	年度末年齢30・40・50・60・70歳を対象に問診・検査を実施する。	歯周疾患検診実施	2,999
その他					合計		19,976

No.	担当課	予算計上科目		平成25年度			
		事業コード	事業名	計画掲載事業名	事業概要	事業内容	予算額 (千円)
情報システム関係事業							
24	情報政策課	01002300	広報活動費	公式サイトリニューアル業務委託	現行システムのリース期間満了に伴う更新。 H25年10月期間満了。	【再掲】ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業No.8(8,034千円)のうちサイト構築分(7,411千円)	7,411
25	情報政策課	01003200	住民情報基幹システム運用費	総合福祉システムの構築	障がい者福祉システム等福祉関連システムの統合。		81,150
26	情報政策課	01003300	地域情報化推進費	会議録作成システム導入	会議録作成を支援するシステムの新規導入。		1,090
27	情報政策課	01003300	地域情報化推進費	貸し出し用情報発信端末購入	SNS等更新用スマートフォン、タブレット端末の購入。		686
情報システム関係					合計		90,337

H25主要事業等					総計	情報システム関係事業No.24を除く	3,098,125
----------	--	--	--	--	----	--------------------	-----------

9 各会計の状況

(1) 一般会計

第1表 歳入の状況

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率	主な増減要因・増減額
1 市税	9,773,616	9,656,905	116,711	1.2	
1 市民税	4,771,927	4,710,181	61,746	1.3	【増収要因】 個人所得割現年分39,354 法人均等割現年分16,990
2 固定資産税	3,718,143	3,715,548	2,595	0.1	【増収要因】 家屋現年分43,917 償却資産現年分7,105
3 軽自動車税	118,280	113,730	4,550	4.0	【増収要因】 課税台数増
4 市たばこ税	600,943	548,800	52,143	9.5	【増収要因】 県たばこ税の一部を市たばこ税に移譲 することに伴う税率の変更
5 都市計画税	564,323	568,646	△ 4,323	△ 0.8	【減収要因】 土地現年分△11,860
2 地方譲与税	304,800	306,800	△ 2,000	△ 0.7	【減収要因】 地方揮発油譲与税△600 自動車重量譲与税△1,400
3 利子割交付金	25,500	25,500	0	-	
4 配当割交付金	16,400	16,400	0	-	
5 株式等譲渡所得割交付金	4,300	4,300	0	-	
6 地方消費税交付金	674,700	674,700	0	-	
7 ゴルフ場利用税交付金	51,800	51,800	0	-	
8 自動車取得税交付金	63,900	63,900	0	-	
9 地方特例交付金	51,900	87,800	△ 35,900	△ 40.9	
10 地方交付税	3,313,000	3,252,200	60,800	1.9	
1 普通交付税	2,913,000	2,852,200	60,800	2.1	【増収要因】 基準財政収入額における固定資産税算 入額の減(△2.9%) 【減収要因】 包括算定経費・個別算定経費の減(△ 0.5%) 臨時財政対策債振替額の増(伸び率 6.2%) 公債費・事業費補正の減(△2.5%)
2 特別交付税	400,000	400,000	0	-	
11 交通安全対策特別交付金	15,400	16,800	△ 1,400	△ 8.3	
12 分担金及び負担金	308,799	303,573	5,226	1.7	【増収要因】 保育所運営費徴収金私立分14,163 養育医療給付事業費負担金391 【減収要因】 保育所運営費徴収金公立分△9,518
13 使用料及び手数料	390,261	390,266	△ 5	0.0	【減収要因】 斎場使用料△851 森林公園使用料△237 【増収要因】 高砂体育館使用料500 たつのこアリーナ柔剣道場使用料300

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率	主な増減要因・増減額
14 国庫支出金	2,737,602	2,617,433	120,169	4.6	【増収要因】 生活保護費118,735 児童手当給付費90,537 障がい者自立支援給付費35,082 社会資本整備総合交付金(公園整備分) 25,750 【減収要因】 子ども手当給付費△181,215 放射線量低減対策特別緊急事業費△16,210 児童扶養手当給付費△1,881
15 県支出金	1,439,520	1,411,903	27,617	2.0	【増収要因】 再生可能エネルギー導入促進事業費87,000 参議院議員選挙費29,472 県知事選挙費27,047 障がい者自立支援給付費17,541 【減収要因】 重点分野雇用創造事業交付金(特別支援教育支援分)△33,445 重点分野雇用創造事業交付金(学習充実支援事業分)△29,578 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金△26,496 妊婦健康診査臨時特例交付金△15,213
16 財産収入	18,821	18,746	75	0.4	【増収要因】 財政調整基金利子183 地域福祉基金利子147 【減収要因】 減債基金利子△285
17 寄附金	751	1,001	△ 250	△ 25.0	【減収要因】 ふるさと龍ヶ崎応援寄附金△250
18 繰入金	546,113	609,627	△ 63,514	△ 10.4	【減収要因】 財政調整基金繰入金△124,000 東日本大震災復興基金繰入金△55,400 【増収要因】 義務教育施設整備基金繰入金144,500
19 繰越金	150,000	150,000	0	-	
20 諸収入	665,617	706,446	△ 40,829	△ 5.8	【減収要因】 高額療養費貸付金元利収入△25,000 学校給食費負担金△20,189 【増収要因】 福島県相馬市派遣負担金9,165 医療福祉費高額療養費等納付金6,800
21 市債	2,541,200	1,880,900	660,300	35.1	【増収要因】 小学校施設整備事業債311,100 臨時財政対策債(借換分)218,900 中学校施設整備事業債131,900 地方道路等整備事業債37,800 【減収要因】 臨時財政対策債△61,700
歳入合計	23,094,000	22,247,000	847,000	3.8	

第2表 歳出の状況

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率	主な増減要因・増減額
1 議会費	255,149	275,650	△ 20,501	△ 7.4	【減額要因】 地方議員共済会負担金△11,668 職員給与と費(議会事務局)△9,006
2 総務費	2,902,251	2,643,759	258,492	9.8	【増額要因】 総合福祉システム構築81,150 庁舎消防設備等改修工事52,300(新規) 参議院議員選挙費29,594 県知事選挙費27,047 市長選挙費24,815 地域コミュニティ推進事業18,300(新規) 【減額要因】 臨時職員等関係経費△14,094 住民情報基幹系システム運用△13,679 自治組織関係経費補助金(地域づくり事業)△6,480 地域イントラネットシステム修正△4,022 牛久沼土地改良区総代選挙費△2,867
3 民生費	8,134,588	7,898,620	235,968	3.0	【増額要因】 生活保護扶助費158,313 児童手当支給事業125,530 障がい者自立支援給付事業70,165 私立保育所運営費48,579 国民健康保険事業特別会計繰出金44,159 【減額要因】 子ども手当支給事業△243,469 高額療養費貸付事業△25,000 職員給与と費(児童福祉)△22,311 職員給与と費(保育所)△19,294 ふれあいゾーン管理運営費△12,938
4 衛生費	2,291,760	2,582,318	△ 290,558	△ 11.3	【減額要因】 清掃工場等整備事業償還費△355,244 放射線対策事業△30,630 龍ヶ崎地方衛生組合負担金△17,498 疾病予防費△14,573 【増額要因】 再生可能エネルギー導入促進事業92,000(新規) 龍ヶ崎地方塵芥処理組合負担金37,079 職員給与と費(保健センター)10,712
5 労働費	13,505	14,670	△ 1,165	△ 7.9	【減額要因】 市シルバー人材センター運営費△1,210
6 農林水産業費	448,859	430,983	17,876	4.1	【増額要因】 加工用米集荷促進事業17,870 青年就農給付金15,000 農業公園湯ったり館管理運営費7,932 龍ヶ崎ブランド育成事業2,092 【減額要因】 生産調整推進対策事業△13,600 転作定着化促進事業△3,370 身近なみどり整備推進事業△2,866

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率	主な増減要因・増減額
7 商工費	169,263	170,768	△ 1,505	△ 0.9	【減額要因】 職員給与費(商工総務)△16,169 中小企業事業資金制度信用保証料補給金△2,000 県信用保証協会損失補償寄託金△3,000 牛久沼観光資源管理△2,089 【増額要因】 企業誘致奨励金9,891 チャレンジ工房どらすて整備事業8,000(新規) 牛久沼白鳥飼育1,472(新規)
8 土木費	1,412,272	1,354,476	57,796	4.3	【増額要因】 道路改良事業36,827 都市公園整備工事18,500 森林公園遊具設置工事17,500(新規) 市道第3-113号線整備事業5,457 【減額要因】 公共下水道事業特別会計繰出金△22,009 職員給与費(都市計画総務)△8,598 職員給与費(道路新設改良)△8,272 排水路整備工事△5,000
9 消防費	1,000,270	1,046,730	△ 46,460	△ 4.4	【減額要因】 コミュニティセンター井戸設置工事△34,800 緊急司令装置整備事業費△10,290 非常災害用備蓄費△8,652 防災行動マニュアル作成△3,000 【増額要因】 デジタル整備事業費5,003 防災アドバイザー報酬1,588(新規)
10 教育費	3,238,475	2,789,721	448,754	16.1	【増額要因】 小学校空調設備設置工事408,000(新規) 中学校空調設備設置工事160,000(新規) 城西中学校校舎大規模改修工事(防災機能分)20,000(新規) たつのコアリーナ管理運営費12,473 【減額要因】 体育施設管理運営費△33,031 職員給与費(教委事務局)△17,542 職員給与費(図書館)△17,063 学校給食運営費△13,843
11 公債費	3,207,166	3,019,516	187,650	6.2	【増額要因】 元金償還費227,080 【減額要因】 利子償還費△39,426
12 諸支出金	833	925	△ 92	△ 9.9	【減額要因】 土地開発基金繰出金△92
13 予備費	19,609	18,864	745	3.9	
歳出合計	23,094,000	22,247,000	847,000	3.8	

(2) 特別会計

① 国民健康保険事業特別会計

後期高齢者医療を支えるための後期高齢者支援金の増加、1人あたり医療費の増加による保険給付費の増加などにより、増額予算となりました。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 国民健康保険税	1,934,531	1,919,607	14,924	0.8
2 一部負担金	2	2	0	-
3 使用料及び手数料	1,500	1,500	0	-
4 国庫支出金	1,635,580	1,611,736	23,844	1.5
5 療養給付費等交付金	436,244	385,649	50,595	13.1
6 前期高齢者交付金	1,632,883	1,613,331	19,552	1.2
7 県支出金	414,266	319,627	94,639	29.6
8 共同事業交付金	743,394	623,287	120,107	19.3
9 財産収入	9	11	△ 2	△ 18.2
10 繰入金	699,178	655,019	44,159	6.7
11 繰越金	1	1	0	-
12 諸収入	21,412	19,230	2,182	11.3
歳入合計	7,519,000	7,149,000	370,000	5.2

歳出

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 総務費	148,025	148,545	△ 520	△ 0.4
2 保険給付費	4,840,308	4,722,531	117,777	2.5
3 後期高齢者支援金等	1,133,552	944,196	189,356	20.1
4 前期高齢者納付金等	1,233	2,808	△ 1,575	△ 56.1
5 老人保健拠出金	46	854	△ 808	△ 94.6
6 介護納付金	466,927	410,117	56,810	13.9
7 共同事業拠出金	868,368	861,549	6,819	0.8
8 保健事業費	48,767	47,152	1,615	3.4
9 基金積立金	9	11	△ 2	△ 18.2
10 諸支出金	7,842	6,773	1,069	15.8
11 予備費	3,923	4,464	△ 541	△ 12.1
歳出合計	7,519,000	7,149,000	370,000	5.2

② 公共下水道事業特別会計

公共下水道整備にかかる事業費が減少したことや、下水道事業債の元利償還金が減少したことにより、減額予算となりました。

歳入 (単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 分担金及び負担金	13,091	12,848	243	1.9
2 使用料及び手数料	1,049,077	1,029,117	19,960	1.9
3 国庫支出金	30,800	34,250	△ 3,450	△ 10.1
4 県支出金	600	1,644	△ 1,044	△ 63.5
5 財産収入	4	4	0	-
6 繰入金	393,825	415,834	△ 22,009	△ 5.3
7 繰越金	1,000	1,000	0	-
8 諸収入	7,003	7,003	0	-
9 市債	569,100	639,300	△ 70,200	△ 11.0
歳入合計	2,064,500	2,141,000	△ 76,500	△ 3.6

歳出 (単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 下水道費	630,470	677,056	△ 46,586	△ 6.9
2 公債費	1,433,141	1,462,921	△ 29,780	△ 2.0
3 予備費	889	1,023	△ 134	△ 13.1
歳出合計	2,064,500	2,141,000	△ 76,500	△ 3.6

③ 農業集落排水事業特別会計

板橋大塚地区浄化センター放流施設改修工事の実施による排水施設管理費の増加などにより、増額予算となりました。

歳入 (単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 使用料及び手数料	3,775	3,801	△ 26	△ 0.7
2 県支出金	300	0	300	皆増
3 繰入金	38,423	37,297	1,126	3.0
4 繰越金	1	1	0	-
5 諸収入	3,501	3,501	0	-
6 市債	12,600	12,100	500	4.1
歳入合計	58,600	56,700	1,900	3.4

歳出 (単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 農業集落排水事業費	19,102	17,756	1,346	7.6
2 公債費	39,329	38,790	539	1.4
3 予備費	169	154	15	9.7
歳出合計	58,600	56,700	1,900	3.4

④ 介護保険事業特別会計

高齢者人口の増加に伴う介護サービス利用者増により、保険給付費が増加していることから、大幅な増額予算となりました。

保険給付費の内訳としては、居宅介護サービス費や特定施設入居者生活介護分が大幅に増加しています。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 保険料	972,562	909,834	62,728	6.9
2 使用料及び手数料	200	300	△ 100	△ 33.3
3 国庫支出金	778,005	749,148	28,857	3.9
4 支払基金交付金	1,125,526	1,113,090	12,436	1.1
5 県支出金	580,587	568,490	12,097	2.1
6 財産収入	173	177	△ 4	△ 2.3
7 繰入金	630,916	618,796	12,120	2.0
8 繰越金	1	1	0	-
9 諸収入	1,030	164	866	528.0
歳入合計	4,089,000	3,960,000	129,000	3.3

歳出

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 総務費	131,398	141,600	△ 10,202	△ 7.2
2 保険給付費	3,874,513	3,703,257	171,256	4.6
3 地域支援事業費	62,560	58,990	3,570	6.1
4 基金積立金	17,654	53,306	△ 35,652	△ 66.9
5 諸支出金	1,203	1,203	0	-
6 予備費	1,672	1,644	28	1.7
歳出合計	4,089,000	3,960,000	129,000	3.3

⑤ 障がい児支援サービス事業特別会計

担当職員の増員により、増額予算となりました。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 サービス事業収入	7,620	7,290	330	4.5
2 繰入金	29,630	21,861	7,769	35.5
3 繰越金	49	0	49	皆増
4 諸収入	1	49	△ 48	△ 98.0
歳入合計	37,300	29,200	8,100	27.7

歳出

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 総務費	29,380	19,412	9,968	51.3
2 サービス事業費	7,808	9,638	△ 1,830	△ 19.0
3 予備費	112	150	△ 38	△ 25.3
歳出合計	37,300	29,200	8,100	27.7

⑥後期高齢者医療事業特別会計

被保険者数の増加により保険料や療養給付費が増加し、後期高齢者医療広域連合納付金が増加したため、増額予算となりました。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 後期高齢者医療保険料	429,671	379,898	49,773	13.1
2 使用料及び手数料	106	101	5	5.0
3 繰入金	613,341	574,530	38,811	6.8
4 繰越金	1	1	0	-
5 諸収入	7,881	7,570	311	4.1
歳入合計	1,051,000	962,100	88,900	9.2

歳出

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 総務費	27,706	22,037	5,669	25.7
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,013,621	930,744	82,877	8.9
3 保健事業費	8,205	7,845	360	4.6
4 諸支出金	438	532	△ 94	△ 17.7
5 予備費	1,030	942	88	9.3
歳出合計	1,051,000	962,100	88,900	9.2

⑦介護サービス事業特別会計

ケアプラン作成件数の増加により、介護予防サービス計画費収入が増加したため、増額予算となりました。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 サービス収入	13,751	12,739	1,012	7.9
2 繰入金	847	60	787	1,311.7
3 繰越金	1	0	1	皆増
4 諸収入	1	1	0	-
歳入合計	14,600	12,800	1,800	14.1

歳出

(単位:千円, %)

款	平成25年度	平成24年度	比較	増減率
1 総務費	5,436	5,778	△ 342	△ 5.9
2 サービス事業費	9,038	6,857	2,181	31.8
3 予備費	126	165	△ 39	△ 23.6
歳出合計	14,600	12,800	1,800	14.1

資 料

(資 料 1)

平成24年10月 5日

職 員 各 位

市 長

平成25年度予算編成における基本的な考え方

私が市長として考えた「まちづくり」のスタートと位置付けた平成24年度も折り返し点に来ました。本市のまちづくりの最上位計画である「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」を軌道に乗せる平成25年度当初予算の編成に臨むにあたり、市政に対する私の思いを皆さんと共有しなければならないと考え、ここでお伝えするものです。

初めに、本年度前半について振り返りますと、東日本大震災の影響は残るものの、行政運営は落ち着きを取り戻し、市民の利便性の向上のために住民票などのコンビニ交付がスタート、フェイスブックなど新たな情報提供も開始することができました。

また、基幹系システムの更新にあたっては、関係する職員の皆さんに大変なご苦労をおかけしましたが、多額のコストカットなど大きな成果が得られました。さらに、この10月から平日の窓口取り扱い時間の延長、休日の窓口取り扱いを開始します。来年3月までを試行期間とし、市民ニーズの把握や執行体制を点検し、平成25年度の本格導入を予定しております。これにつきましても、関係する職員の皆さんにご苦労をおかけしますが、ご協力よろしく申し上げます。

さて、予算編成における私の基本的な考え方です。

私の考えるまちづくりの方向性を示したものが、最上位計画であるふるさと龍ヶ崎戦略プラン（以下「戦略プラン」といいます。）です。戦略プランでは、目指していくまちの姿（まちづくりのスローガン）を「人が元気 まちも元気 自慢したくなるふるさと 龍ヶ崎」として掲げ、いつまでも住み続けたい、いつかは住んでみたいと思ってもらえ誇れる、そして自慢したくなる「ふるさと龍ヶ崎」を本市の将来像としています。将来像を構築するために、4つの重点戦略のもとに12の基本目標を定め、様々な施策の展開を「工程表」としてまとめてあります。

しかしながら、この工程表にかかる財源担保は十分とは言えません。10月から施行しました「龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例」は、全国的にも先進的な事例です。福祉の増進・市民生活を支える持続可能な財政基盤を構築するため、こ

れまでの幾多の取組の義務化・制度化などにより、財政力の向上を目標とするものです。当然のことながら、職員の皆さんはもちろん、市民の皆さんのご理解と実践が無ければ到底目標は達成できません。条例及び施行規則を熟読のうえ、実践・周知に努めてください。

これらを踏まえ、平成25年度予算要求においては、重点施策等に関する事業の企画立案を行うとともに、施策の効果をより大きくするためには、企画立案段階、つまり予算編成過程において明確なビジョンを持つことが必要と肝に銘じてください。

例えば、災害をはじめ、感染症などを含む危機事象への備えについてですが、被害等の想定に対し、市でやるべきことは何か、それは実施可能か。そのためには「ヒト、モノ、カネ」そして時間がどれだけ必要か。明確な想定ができれば、良い提案が導かれることでしょう。

また、主要事業であっても、まだまだ、実効性を伴う更なる選択と集中が必要と考えています。再度、検証しその必要性を見極めていただきたいと思います。

そして、もう一つ困難な目標に挑戦していただきたいと思います。それは「財政力の向上」です。第3次財政健全化プランにおいては、「恒常化しつつある赤字体質、基金繰入れに依存した財政運営からの脱却」を最優先課題としましたが、何とか達成が見込める現在、これに満足せず、さらに「龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例」に基づき財政力の向上を図らなくてはなりません。今後の少子高齢社会の進行など財政運営に及ぼす悪影響なども勘案すると、本市の財政状況は再び厳しい局面となるおそれがあります。引き続き気を引き締め、所要財源の確保に取り組んでください。

以上の趣旨を踏まえた職員の皆さん、一人ひとりの地道な取組の積み重ねが、市民の皆さんの市政に対する信頼感を得て、本市の将来像の実現につながるものと確信しています。皆さんの英知と「市政を担う者」としての誇りを予算編成に反映させていただくことを願っています。

また、良い仕事を成し遂げるためには、心身の健康が絶対条件であると考えます。時間外勤務や休日出勤に加え、地区の活動などもあり、多忙であることは十分承知していますが、ぜひ、家族や友人などとのリフレッシュの時間を大切にしてください。

最後となりますが、平成24年度の予算編成の際、私は「常に皆さんの先頭に立ち、まちづくりに邁進します。」と皆さんに約束しましたが、この思いは今も変わりません。ロンドンオリンピックで活躍した「なでしこジャパン」の中心選手は、若きチームメイトに「苦しいときには私の背中を見て。」と言ったそうです。この素晴らしいリーダーシップを見習い、私もさらに走り続けます。「チーム龍ヶ崎」のメンバーである職員の皆さん、共に頑張りましょう。

平成24年10月9日

各部課等の長 殿

政策推進部長

平成25年度予算編成方針について

1 経済情勢等

内閣府の月例経済報告によれば、我が国の景気は、世界景気の減速等を背景として、回復の動きに足踏みが見られる。先行きについては、当面は弱めの動きも見込まれるものの、復興需要が引き続き発現する中で、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待される。ただし、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高い中で、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動が、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、収益や所得の動向、デフレの影響等にも注意が必要という情勢にある。

2 国政の動向等

国においては、平成25年度の予算編成に向け、平成24年8月31日に「中期財政フレーム」の改訂が閣議決定されたところである。この中で「持続可能な財政・社会保障制度の構築を図ることは、財政危機に陥った欧州諸国のように財政状況の悪化が経済や国民生活に悪影響を及ぼすことを回避するとともに、人々の不安を減らし、消費を促し、経済活動を拡大することを通じて新たな成長の基盤となる。そのためには、社会保障・税一体改革を実現する。」としている。

また、震災からの復旧・復興については福島の再生を最優先課題として、引き続き全力で対応する方針となっている。

一方で、財政運営戦略に定めた2015年度の基礎的財政収支の赤字の対GDP比の半減目標を着実に達成する観点から、恒久的な歳出削減を行うことにより、少なくとも前年当初予算の「基礎的財政収支対象経費」の規模（歳出の大枠）を実質的に上回らないこととし、できる限り抑制に努めることとしている。したがって、社会保障関係費等の当然増・自然増を見込めば、裁量的経費が削減の中心にならざるを得ない。

地方財政関連の概算要求においては、地方財政への一定の配慮が継続され、地方交付税が地方への交付ベースで2,575億円、1.5%の減、臨時財政対策債は3,788億円、6.2%の増と「実質的な地方交付税」は概ね前年度程度の要求額となっているなど、一般財源総額は実質的に平成24年度地方財政計画の水準を下回らないよう確保するとしている。

しかし、先日発足した野田第3次改造内閣においては、地方財政に大きな影響力を持つ財務省、総務省の両大臣の交代が今後の予算編成過程において、地方財

源不足の拡大につながりかねない措置の検討に発展することも否定できない。

特に、平成25年度は、ここ数年、特例措置として実施されてきた国庫補助事業の廃止時期に当たるなど、大幅な制度改正も見込まれることから、制度の創設・改廃等のもとより、地方負担の動向には特に細心の注意を払う必要がある。

3 本市の財政状況等

平成23年度の財政運営は、市税収入が減収となる中、地方交付税及び臨時財政対策債の「実質的な地方交付税」の増収や、平成22年度の収支改善による繰越金の確保などにより財源が確保され、比較的良好な決算となったが、言わば、国の「地方配慮」という政策に支えられたものであり、自主財源の増収や恒久的な歳出削減による自律的で力強い改善とは言えない。さらに、経常収支比率（普通会計）は、94.1%と再び上昇に転じ、財政構造の硬直化が顕著であることには変わりなく、平成24年度においてもほぼ同様の傾向が続いている。

さて、平成24年度の財政見通しであるが、歳入の大宗を占める市税収入は、固定資産税の評価替えの結果、地価下落や家屋の経年減価などの影響で大幅な減収、加えて個人所得の減少を反映した個人市民税の減収などにより、年少扶養控除の廃止や、市たばこ税の税率改正による増収を加味しても全体として減収基調が継続し厳しい状況となっている。

歳出面では、公債費や都市再生機構立替償還金などが依然として高水準で推移する中、社会経済情勢を反映した社会保障関係費の伸びが見込まれる。また、医療給付費等も増嵩基調にあることから、国民健康保険事業特別会計繰出金や介護保険事業特別会計繰出金、有収水量の減少による公共下水道事業特別会計繰出金なども伸びが見込まれ、かつての人口急増対策や先行投資に伴う旺盛な財政需要は影を潜める一方で、社会保障関係費や公営企業会計における経営支援繰出などの経常的・固定的な経費のシェアが引き続き拡大傾向にある。

このため、累次の財政健全化の取組をもってしてもなお、収支低水準が見込まれ、経済状況などの如何によっては財源不足の発生も想定される情勢である。したがって、実効性を伴う「選択と集中」が不可避な状況である。

4 財政運営の基本姿勢

平成25年度は、ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（以下、戦略プラン）を軌道に乗せるための予算となる。このため、予算編成にあたっては、戦略プランの目標達成のための主要施策に財源配分を特化する。すなわち、義務的経費、放射線対策費及び主要施策に要する経費の財源確保を最優先とし、その他の経費にあっては「ゼロベース」とするので留意されたい。特に「重点分野雇用創造事業交付金」等の財源を活用した嘱託員等の雇用については、制度終了により一旦リセットするので留意されたい。

ところで、基礎的自治体である市町村の責務は、どのような状況下においても、公共サービスの主たる担い手として、日々の業務を的確に遂行することにあるが、

公共サービスを担保する財政基盤は、少子高齢化による本格的な人口減少に伴い減収基調が見込まれる反面、社会保障関係費の増嵩基調により、収支ギャップが構造的に拡大することが予想される。

このため、一般事業はもとより、主要施策であっても費用対効果の把握や、事業内容、実施主体等の適否を検証し、結果次第では中止を含む抜本的な見直しを行い、事務事業全般にわたり予算化の是非等を判断するなど、行財政改革を実行しながら、持続可能な財政基盤の構築を推進し、真に必要な事業の財源を確保するものとする。

5 平成25年度の予算編成の進め方

平成25年度予算は「龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例」（以下、条例）施行後の初めての予算であることから、条例及び条例施行規則（以下、規則）に十分留意するとともに、平成24年10月5日付け「平成25年度予算編成における基本的な考え方」、戦略プラン及び前述の趣旨を踏まえ、次の事項に留意して編成するものとする。

なお、事務の詳細については、財政課長通知による。

(1) 条例による財政運営影響額の試算等の義務付け

① 公共施設等整備に伴う財政運営影響額（条例第19条、規則第11条）

総事業費が公共施設（庁舎、学校、図書館、コミュニティセンター、体育館などの建築物）で1億円以上、社会基盤施設（道路、河川、橋りょう、下水道、公園など）で2億円以上の新設、更新、大規模改造等をしようとする場合は、財政運営影響額の試算結果（向こう30年間）及び当該事業による社会的便益等の予測の公表を義務付けている。

- ・ 投資的経費 用地費、設計費、建設費、初度調弁費等の初期費用及び、特定財源
- ・ 経常的経費 管理運営費（人件費含む）、物件費、市債償還費等の経常的費用及び、使用料等経常収入
- ・ 更新費用 当該施設の機能を維持するため、一般的な知見により予測される維持補修費、工事請負費、備品購入費等の臨時的経費及び特定財源

② 公共施設の管理の最適化（条例第9条第1項）

公共施設によって提供する機能について、社会経済情勢の変化及び財政状況等に適合した必要性の高い機能を確保するため、公共施設の用途及び利用環境の改善、運営の効率化並びに統廃合等の推進を義務付けている。

(2) 重点分野

① 協働のまちづくりと地域力のアップに関する取組

まちづくりの主役は市民である。「公共を皆で担う」という理念のもと、

市民の参画と協働の取り組みを拡大するとともに「地域力アップ」に様々な視点から取り組み、地域の力を活かしたまちづくりを推進する。

- ・市民活動日本一を目指したまちづくり（重点施策）
- ・市民みんなで考え、つくる、わかりやすいまちづくり
- ・地域の力を活かした、地域が輝くまちづくり

② 若者・子育て世代の定住環境の創出に関する取組

将来的なまちづくりを考えていくうえでも、若者・子育て世代を中心とした人口誘導が求められている。このため、安心して子育てができる環境の創出に向けて特色ある施策を展開し発信することで若者世代を呼び込み、定住人口の増加を推進する。

- ・子育て環境日本一を目指したまちづくり（重点施策）
- ・心豊かな「龍の子」を地域で育てるまちづくり

③ まちの活性化と知名度アップに関する取組

本市には牛久沼に代表される豊かな自然、広大な農地、まちを支えてきた商工業、多彩な歴史や文化、流通経済大学など多くの地域資源が存在する。これら地域資源の活用を基本に、地域活性化と知名度の向上を図るものとする。その際、地域資源などを生かしたブランド力の強化を目指すものとする。また、環境・エネルギー問題については、環境負荷軽減の取組や、再生可能エネルギーの普及策などにも留意するものとする。

- ・豊かな自然・地域資源を生かしたまちづくり
- ・元気を生み出す活力のある産業が育つまちづくり
- ・大学のあるまちのメリットを生かした特色あるまちづくり
- ・環境先進都市を目指したまちづくり

④ 安心と住みよさが実感できる生活環境づくりに関する取組

日常生活を送っていく中での安心の確保と住みよい環境づくりはまちづくりの基本的な要素である。市民誰もが安心して快適に暮らすことができる生活環境づくりを推進する。

- ・安心安全が実感できるまちづくり
- ・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり
- ・交通インフラが充実した住みよいまちづくり

(3) 予算要求の基本的事項

① 義務的経費・経常的経費

ア 義務的経費・経常的経費ともに、制度の改廃等に留意のうえ、事業内容を精査するものとする。また、「自然増」「当然増」を過大に見込まないこと。

イ 経常的経費の要求にあっては、「そもそも市が実施する必要があるのか」という視点で、「必要性」と「担い手」を客観的に再検証するものとする。

② 政策的経費・投資的経費

ア 政策的経費又は投資的経費にあつては、中期事業計画（情報システム中期事業計画を含む）における一次査定を経たもの、及び戦略プランの工程表に登載された事業（以下、概算要望等承認事業）に財源を優先配分するものとし、その他の事業については、ゼロベースとする。概算要望等承認事業であっても、事業の目的・効果、財源措置などを改めて検証し、真に必要な事業を厳選するものとする。

イ 政策的事業は、戦略プランの趣旨を踏まえるとともに、全市的に必須である行政サービス水準を一定レベルに維持したうえで、当該需要の多寡、緊急性の高低や地域特性を踏まえ、事業の選択を行うものとする。

③ 新規事業

新規のソフト事業は、概算要望等承認事業のほか、法律等により義務付けられたもの、国県等により財源が担保されるものとし、単独事業にあつては、既存事業の改廃等により、所要一般財源等についての確保が見込まれるものに限る。

(4) 行政改革の推進

「平成25年度予算編成における基本的な考え方」で示されたとおり、重点施策等の推進のためには、条例に基づく財政力向上の取組が必須であり、更なる行政改革を推進するものとする。その際、中長期の課題である少子高齢社会の進行に対応し得る行政運営の仕組づくりについても十分意識して取り組むものとする。

職員数の削減による財源確保の取組は、計画を上回り順調に推移している。反面、業務は多様化・複雑化を続け、一人当たりの業務は質・量ともに増大していることは承知している。しかし、行政コストのより一層の削減は必須であり、個々のスキルやモチベーションの向上はもとより、事業の取捨選択及び手法改善などによる全体的な業務量の圧縮、さらには、事務事業の再構築などの行政改革は避けられない。その際、市民の負担増を伴う改革にあつては、相当の困難も予測されるが、改革の必要性を共有することにより、市民の納得性を向上させ、理解が得られるよう鋭意取り組むものとする。

(5) 資産改革の推進（ストックの流動化及び活用）

大型の都市基盤整備がほぼ終了し、今後はストック（資産）のより一層の有効活用の推進が必要である。このため、施設の利用状況に加え、人口動態及び社会経済情勢の変化等を踏まえた今後の需要動向等を勘案するとともに、管理運営コスト及び老朽施設においては更新コスト等も勘案のうえ、真に必要な施設・サービスを厳選することが肝要である。

現在、政策推進部において、「公共施設の管理運営のあり方」を示す基本方針を作成中であるが、各施設管理者にあつては、施設老朽化の進行や利用実態等を踏まえ、利用環境の改善、管理運営の効率化や機能強化はもとより、多機能化や複合化を推進するなどにより、施設の規模、配置の最適化を図り、社会経済情勢の変化及び財政状況に適合した必要性の高い機能を確保する取

組が条例により義務付けられていることに留意されたい。

なお、個々の施設においては、サービス改善、利用率・満足度の向上を図る観点も重要であることから、各施設管理者にあっては、施設の管理業務にとどまらず、新たな活用策・高度利用による「資産価値を高める」ための事業展開なども検討するものとする。

(6) 負担の公平性と自主財源の確保等

自主財源の根幹である市税徴収（収納）率の向上は、財源確保と負担の公平性の両面から重要であることは言うまでもない。また、公共サービスの財源は、市税などにより広く負担されることが大原則であり、担税力のある者が納税せず、公共サービスを楽しむことは、公平性を著しく損なうものであり、目的税である国民健康保険税及び同様の性格である介護保険料などではその傾向がさらに強いものとなる。このことを踏まえ、全庁を挙げて適正課税・徴収率向上に取り組むものとする。

また、使用料等は、その利用者と非利用者との負担の公平性については、利用者の応分の負担によって初めて非利用者との負担の公平性が確保されるという視点から、受益者負担の適正化についても精査すること。

(7) その他

業務のアウトソーシング等にあつては、仕様書・設計書の創意工夫をはじめ、発注・入札方式の見直しなど多角的な検討を進めること。

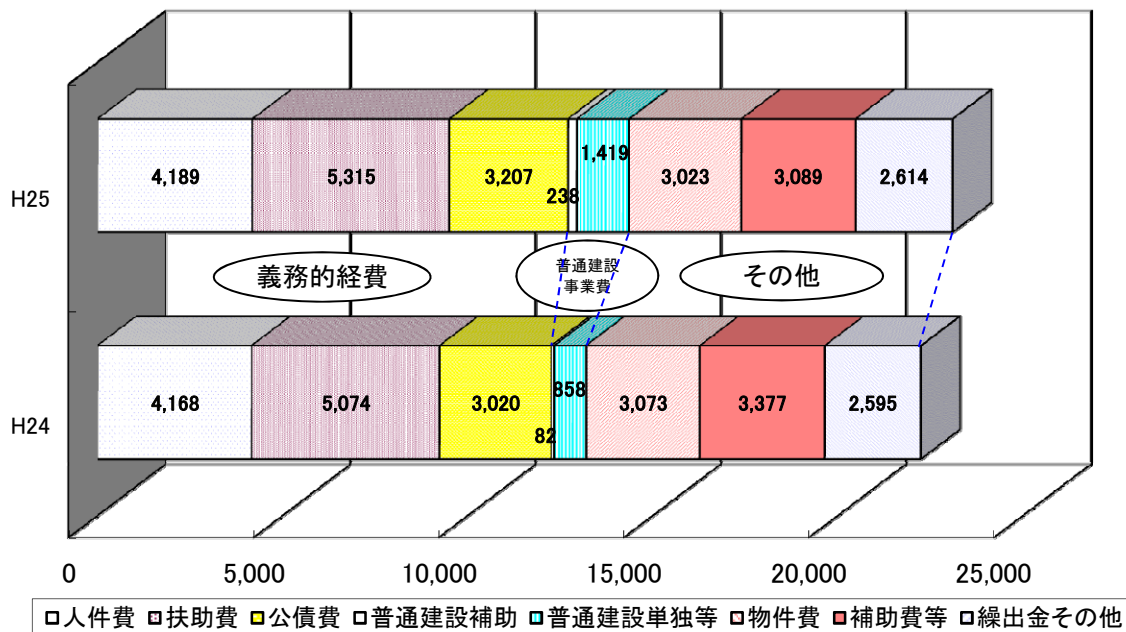
また、特別会計や外郭団体等の経営支援的な補助金にあつては、自主独立を旨とする経営力強化の取組を促進するなど、歳出削減による自主財源の確保にも引き続き取り組むものとする。

さらに、本市が関連する一部事務組合及び外郭団体についても、本通知の趣旨の徹底を図るものとする。

(資 料 2)

性質別歳出予算の状況

(単位:百万円)



(単位:千円, %)

区 分	平成25年度		平成24年度		比 較	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
義務的経費	12,711,941	55.0	12,260,961	55.1	450,980	3.7
人件費	4,189,348	18.1	4,167,506	18.7	21,842	0.5
扶助費	5,315,427	23.0	5,073,943	22.8	241,484	4.8
公債費	3,207,166	13.9	3,019,512	13.6	187,654	6.2
普通建設事業費	1,656,874	7.2	940,426	4.3	716,448	76.2
補助事業費	237,975	1.0	82,045	0.4	155,930	190.1
単独事業費	1,405,643	6.1	845,581	3.8	560,062	66.2
県営事業負担金	13,256	0.1	12,800	0.1	456	3.6
その他	8,725,185	37.8	9,045,613	40.6	△ 320,428	△ 3.5
物件費	3,022,893	13.1	3,072,878	13.8	△ 49,985	△ 1.6
維持補修費	161,032	0.7	197,415	0.9	△ 36,383	△ 18.4
補助費等	3,088,964	13.4	3,377,113	15.2	△ 288,149	△ 8.5
(うち一部事務組合に対するもの)	2,052,203	8.9	2,402,837	10.8	△ 350,634	△ 14.6
繰出金	2,406,993	10.4	2,324,322	10.4	82,671	3.6
積立金等	45,303	0.2	73,885	0.3	△ 28,582	△ 38.7
合 計	23,094,000	100.0	22,247,000	100.0	847,000	3.8

人件費…職員給与, 特別職給与・報酬, 議員報酬, 非常勤特別職報酬など

扶助費…障がい者自立支援給付, 老人保護措置, 医療福祉費, 保育費, 生活保護費など

公債費…市債償還費

普通建設事業費…小中学校施設整備, 公園整備, 道路改良, 五省協定立替施行償還金など

物件費…設備管理委託費, 電算委託費, 光熱水費, 燃料費, 通信運搬費, 消耗品など

維持補修費…施設修繕費など

補助費等…一部事務組合への負担金, 補助金, 交付金, 報償費など

繰出金…特別会計への繰出金(市負担分及び財源補てん分)

(資 料 3)

1 人口と一般会計当初予算額の推移

(単位:人,千円,%)

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
人	口	79,231	79,309	79,269	78,865	79,744
予	算	21,213,000	21,770,000	22,493,000	22,247,000	23,094,000
対前年度増減率	人 口	0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.5	1.1
	予 算	△ 1.7	2.6	3.3	△ 1.1	3.8

(注)人口は、各年3月31日現在の住民基本台帳人口(25年は1月1日現在)によります。

2 地方債現在高の推移(会計別)

(単位:千円)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
一般会計	28,697,197	28,218,142	27,281,041	26,511,380	26,553,298
公共下水道事業特別会計	16,012,191	15,699,865	15,329,455	14,869,642	14,364,832
農業集落排水事業特別会計	599,264	583,520	567,152	550,209	532,774
合 計	45,308,652	44,501,527	43,177,648	41,931,231	41,450,904

(注)平成24年度及び25年度の計数は、見込額です。

3 財政指標の推移と比較(普通会計)

(単位:%,ポイント)

区分		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実質収支比率	龍ヶ崎市	3.4	3.1	3.1	3.7	6.7
	県内市平均	5.0	4.6	5.2	5.5	8.4
	類似団体	3.5	3.3	4.2	5.1	-
経常収支比率	龍ヶ崎市	97.8	98.0	95.4	91.6	94.1
	県内市平均	91.2	91.0	90.3	87.1	87.7
	類似団体	93.5	93.0	91.8	87.9	-
起債制限比率	龍ヶ崎市	10.8	10.1	9.7	9.4	9.2
	県内市平均	10.4	10.0	9.4	-	-
	類似団体	-	-	-	-	-
財政力指数	龍ヶ崎市	0.79	0.80	0.80	0.78	0.75
	県内市平均	0.77	0.80	0.80	0.76	0.73
	類似団体	0.65	0.66	0.64	0.61	-
実質赤字比率	龍ヶ崎市	-	-	-	-	-
	県内市平均	-	-	-	-	-
	類似団体	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	龍ヶ崎市	-	-	-	-	-
	県内市平均	-	-	-	-	-
	類似団体	-	-	-	-	-
実質公債費比率	龍ヶ崎市	11.6	12.1	11.7	11.0	10.4
	県内市平均	13.3	12.9	12.0	11.1	-
	類似団体	14.2	14.3	13.9	12.9	-
将来負担比率	龍ヶ崎市	88.2	85.7	70.5	54.2	42.2
	県内市平均	106.9	97.9	88.6	75.9	-
	類似団体	117.2	113.2	106.7	88.1	-

4 一般財源の推移

(単位:千円, %)

項 目	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算見込額	平成25年度 予算額
1 市税	10,729,365	10,354,991	10,068,129	9,998,637	9,857,256	9,773,616
1 市民税	5,277,818	5,076,316	4,814,089	4,688,562	4,844,166	4,771,927
2 固定資産税	4,223,340	4,088,021	4,043,976	4,034,294	3,780,323	3,718,143
3 軽自動車税	101,406	106,950	110,184	111,945	116,616	118,280
4 市たばこ税	473,624	456,003	476,398	542,083	540,538	600,943
5 都市計画税	653,177	627,701	623,482	621,753	575,613	564,323
2 地方譲与税	355,621	334,471	301,672	315,868	306,800	304,800
1 地方揮発油譲与税		53,991	88,786	87,854	84,600	84,000
2 自動車重量譲与税	269,137	243,409	212,886	228,014	222,200	220,800
3 地方道路譲与税	86,484	37,071				
3 利子割交付金	48,835	39,014	35,004	26,252	25,500	25,500
4 配当割交付金	16,913	12,562	15,863	18,314	16,400	16,400
5 株式等譲渡所得割交付金	7,696	7,111	6,030	6,631	4,300	4,300
6 地方消費税交付金	635,136	665,594	664,451	663,881	674,700	674,700
7 ゴルフ場利用税交付金	55,355	54,256	52,728	45,327	51,800	51,800
8 自動車取得税交付金	149,623	84,557	65,678	59,488	63,900	63,900
9 地方特例交付金	138,495	125,655	141,535	123,529	52,934	51,900
10 普通交付税等	2,685,977	3,292,435	4,417,328	4,436,618	4,678,058	4,489,300
1 普通交付税	2,051,977	2,308,435	2,851,438	2,997,766	3,193,707	2,913,000
2 臨時財政対策債	634,000	984,000	1,565,890	1,438,852	1,484,351	1,576,300
11 特別交付税	556,018	574,263	607,493	1,116,521	658,600	400,000
1 特別交付税(通常分)	556,018	574,263	607,493	659,887	600,000	400,000
2 震災復興特別交付税				456,634	58,600	
12 交通安全対策特別交付金	15,928	16,011	15,064	14,328	16,800	15,400
小 計	15,394,962	15,560,920	16,390,975	16,825,394	16,407,048	15,871,616
対前年度増減額	△ 450,659	165,958	830,055	434,419	△ 418,346	△ 535,432
対前年度増減率	△ 2.8	1.1	5.3	2.7	△ 2.5	△ 3.3
合 計	15,394,962	15,560,920	16,390,975	16,825,394	16,407,048	15,871,616
一般財源対前年度増減額	△ 450,659	165,958	830,055	434,419	△ 418,346	△ 535,432
一般財源対前年度増減率	△ 2.8	1.1	5.3	2.7	△ 2.5	△ 3.3
一般基金繰入(見込)額	981,381	174,203	14,077	3,618	132,826	546,112
うち総合運動公園基金	12,760	30,588				
うちその他基金	968,621	143,615	14,077	3,618	132,826	546,112
一般基金残高(見込)	2,955,364	2,794,482	3,453,333	3,713,027	3,896,608	3,357,073
一般基金残高対前年度増減率(見込)	△ 23.8	△ 5.4	23.6	7.5	4.9	△ 13.8

(注) 平成24年度決算見込額は財政課推計額です。
基金繰入れは積替えのための繰入れを除きます。

5 将来の財政負担額の推移

(単位:千円)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (見込)	平成25年度 (見込)
1 地方債	45,308,652	44,501,527	43,177,648	41,931,231	41,450,904
一般会計債	28,697,197	28,218,142	27,281,041	26,511,380	26,553,298
特別会計債	16,611,455	16,283,385	15,896,607	15,419,851	14,897,606
公共下水道事業	16,012,191	15,699,865	15,329,455	14,869,642	14,364,832
農業集落排水事業	599,264	583,520	567,152	550,209	532,774
2 公債費に準ずる債務負担	4,071,265	3,827,506	3,566,632	3,341,175	3,088,931
3 一部事務組合債	3,384,471	2,538,798	1,688,301	911,980	475,328
龍ヶ崎地方塵芥処理組合	2,762,752	1,981,296	1,183,078	469,199	86,844
龍ヶ崎地方衛生組合	253,590	193,162	144,656	123,570	106,687
稲敷地方広域市町村圏事務組合	368,129	364,340	360,567	319,211	281,797
合 計 A	52,764,388	50,867,831	48,432,581	46,184,386	45,015,163
交付税等算入見込額 B	28,276,195	27,945,102	27,359,310	26,783,529	26,217,569
実質負担額 A-B	24,488,193	22,922,729	21,073,271	19,400,857	18,797,594

※上記の将来の財政負担額は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)の規定に基づき算出したものです。なお、特別会計債については市全体の負担額を表示しています。(財政健全化法では一般会計等が負担すべき割合のみ算入されます。)

